

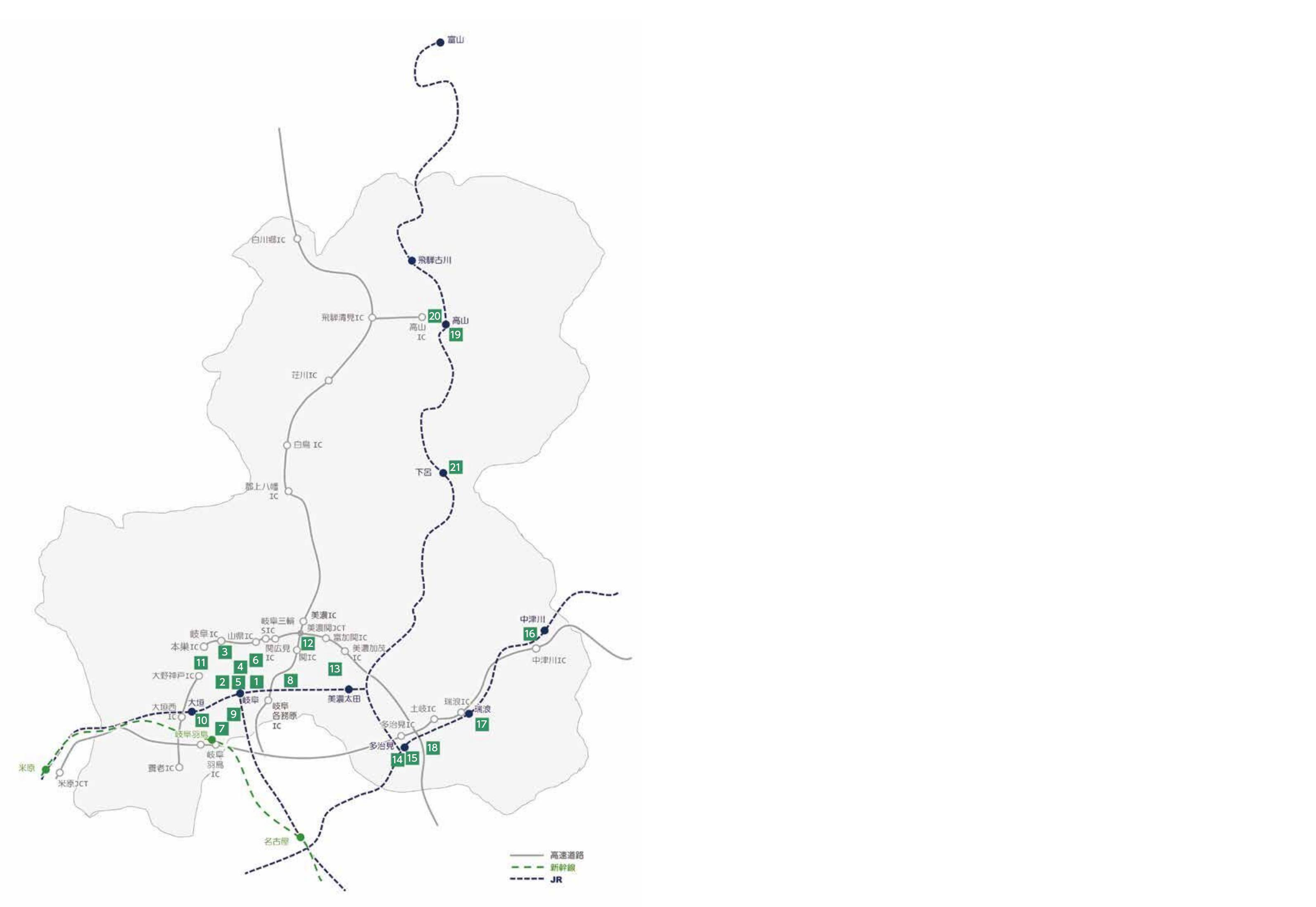
岐阜県 臨床研修 病院案内

2026版



岐阜県
臨床研修病院
協議会





目次

1 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター	2
2 岐阜市民病院	4
3 国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学医学部附属病院	6
4 岐阜赤十字病院	8
5 朝日大学病院	10
6 独立行政法人国立病院機構長良医療センター	12
7 羽島市民病院	14
8 公立学校共済組合東海中央病院	16
9 社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院	18
10 大垣市民病院	20
11 岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院	22
12 岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院	24
13 社会医療法人厚生会中部国際医療センター	26
14 地方独立行政法人岐阜県立多治見病院	28
15 多治見市民病院	30
16 総合病院中津川市民病院	32
17 岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センター東濃厚生病院	34
18 岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センター土岐市立総合病院	36
19 高山赤十字病院	38
20 岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院	40
21 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院	42

※この冊子は2025年5月現在でとりまとめたものです。
最新の情報は各病院にお問い合わせください。

岐阜県総合医療センター

病院の概要

開設時期	昭和28年7月1日
開設者	地方独立行政法人岐阜県総合医療センター
院長名	桑原 尚志
病床数	620床
病科	内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、疼痛緩和内科、感染症内科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、肝臓内科、循環器内科、小児科、小児循環器内科、新生児内科、外科、消化器外科、乳腺外科、疼痛緩和外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、小児脳神経外科、小児心臓外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科、小児救急科
医師数	202名
指導医師数	91名
外来患者数	1,372名/日
入院患者数	15,913名/年
所在地	岐阜市野一色4-6-1
URL	https://www.gifu-hp.jp



病院の特徴

岐阜県総合医療センターは、平成18年11月に新病院を開院し、電子カルテを中心としたトータルインテリジェントホスピタルとして生まれ変わりました。プライマリケアの修得については、救命救急センターでの研修やACLS研修等、救急に強い医師を育てる努力をしています。さらに、小児科系スタッフは35名在籍し、充実した小児科研修が受けられます。また、平成19年3月より特定非営利活動法人卒後臨床研修評価機構による第三者評価の認定を受けています。

院長メッセージ



当センターは地域の医療を守るためにいつでも対応できる高水準の「断らない医療」を提供します。急性期医療を中心とした臨床研修において、基幹病院としての高度で専門的な医療チームを活用しつつ、基本的な診療態度・技能・知識を身につけ、患者やその家族の心を理解する医療を行える医師に成長できます。皆さんのが笑顔で研修を続けられることがスタッフにとってなによりの喜びです。

病院見学は随時受け付けています。新棟南棟には新研修医室を整備しました。実際にその目で病院を見て、指導医に会い、先輩研修医の意見も聞いてぜひ当センターを選んでいただきたいと思います。

指導医メッセージ

当センターは、救急医療から高度専門医療まで行う総合医療センターであることを活かし、一貫性のあるシステムで実力のある医師の育成を目指しています。地域医療の基幹病院・急性期中核病院として期待され、それに対応し得るER体制、各専門分野での高度・先端医療は、ともに初期研修医には最高の環境です。

研修期間では悩み、迷うことが多いでしょう。しかし当センターにはそれを乗り越えてきた後期研修医がたくさんいます。熱い指導医と兄貴分の後期研修医があなたをしっかりサポートします。

医師としても社会人としても尊敬される医師の養成を目指します。多くの皆さんのご応募を心からお待ちしています。

研修医メッセージ

当センターでは経験できる症例と手技がとても多いです。救急外来では研修医が主体となって医療を行うことができます。さらに全ての症例を上級医がチェックをしてくれ、当直の最後にはフィードバックをしていただけます。やりっぱなしの当直、放ったらかしで不安な当直はありません。

また、働き始めて3ヶ月であっても試験をクリアすれば上部消化管内視鏡や単経ヘルニア手術を行うこともできます。切磋琢磨し合える同期が多いのも楽しい研修生活が過ごせている一因でしょう。日々充実した研修生活を送りたい皆さん、ぜひ当院で一緒に働きましょう。

研修スケジュール

- 1年次の臓器別ローテーションは循環器4週（循環器内科、心臓血管外科）、呼吸器6週（呼吸器内科、呼吸器外科）、消化器10週（消化器内科、外科）で構成され、選択研修は内科12週（糖尿病・内分泌内科、総合診療科、脳神経内科、腎臓内科、感染症内科から3科選択）、選択（整形外科、泌尿器科、脳神経外科、麻酔科、精神科、小児科、心臓血管外科から1科選択）となります。
- 2年次の自由選択（36～40週）では、スムーズに専門研修につながるよう、単独または関連した複数の診療科を24週以上選択します。
- 救急研修は1年次4週、2年次4週と救急当直研修36回以上（月3回程度×12ヶ月）とにより行います。
- 一般外来研修は小児科1週間、内科系診療科1週間、地域医療研修2週間ににより行います。

	1年次	4週	6週	10週	12週	4週	4週	4週	8週
	循環器	呼吸器	消化器	内科選択	救急	産婦人科	麻酔科	選択	
2年次	4週	4週	4週	4週	36週				自由選択
	救急	地域	(精神科)	(小児)					

研修協力病院・施設

岐阜大学医学部附属病院	公益社団法人岐阜病院	岐阜保健所
岐阜県立下呂温泉病院	岐阜県赤十字血液センター	揖斐郡北西部地域医療センター
県北西部地域医療センター国保和良診療所	東白川村国民健康保険診療所	下呂市立金山病院
市立恵那病院	国民健康保険上矢作病院	中津川市国民健康保険坂下診療所
高山赤十字病院	久美愛厚生病院	郡上市民病院
総合犬山中央病院	和光会 山田病院	朝日大学病院
岐阜赤十字病院	各務原リハビリテーション病院	聖徳会 小笠原内科・岐阜在宅ケアクリニック
美濃市立美濃病院	みながわ内科・循環器内科クリニック	飛騨市民病院
高山市国保朝日地域診療所	高山市国保久々野拠点診療所	高山市国保庄川診療所
高山市国保清見診療所	下呂市立小坂診療所	総合在宅医療クリニックみの
みどり病院	県北西部地域医療センター国保白鳥病院	県北西部地域医療センター国保高鷲診療所
県北西部地域医療センター白川村国保白川診療所	高山市国保高根地域診療所	

後期研修・専門研修（予定）

当センターでは基幹施設として内科と小児科と整形外科の専門研修プログラムを有し、豊富な臨床経験を持つ指導医の適切な指導の下で、必要な知識と技能を修得します。また、内科・小児科・整形外科以外についても、多くの診療科が連携施設として専攻医の受け入れを行います。詳しい研修プログラム内容等につきましては、当センターのホームページをご覧ください。

研修プログラムの目標

将来専攻する診療科にかかわらず臨床に必要な基本的診療能力を習得し、遭遇しうる如何なる状況においても良質な全人的医療を行えるようにする。

研修プログラムの特徴

当院は「断らない医療」をモットーとしており、一次救急からCPAまで多くの幅広い患者を受け入れており、多様な症例を経験できます。指導医が多く細かい指導を受けることができるのも大きな特徴です。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者。
募集人員：16名（予定）
身分：非常勤医師
給与：1年目 年収約650万円、2年目 年収約800万円
※諸手当、賞与等含む
住居等：医師住宅なし（住居手当あり）
保険等：健康保険、厚生年金有り、労災有り

連絡先

電話番号：058-246-1111
fax：058-248-3805
E-mail：info@gifu-hp.jp

交通案内



岐阜市民病院

病院の概要

開設時期：昭和16年12月15日

開設者：岐阜市長 柴橋 正直

院長名：山田 誠

病床数：565床

標榜科：総合診療・膠原病内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、脳神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科

医師数：188名

指導医師数：79名（臨床研修指導医講習会修了者）

外来患者数：1,132名/日

入院患者数：450名/日

所在地：岐阜市鹿島町7-1

URL：<http://gmhosp.jp/>



病院の特徴

当院は、「心にひびく医療の実践」を基本理念としている。多職種間のコミュニケーションが良好で「チーム医療」のやりやすさにもつながっている。多くの分野において本邦でもトップレベルの高度先進医療を体感でき、臨床、教育、研究、学会発表などを積極的に行っている。また、地域医療支援病院、災害拠点病院、地域がん診療連携拠点病院などの指定を受けており、市民に愛される身近な病院でありながらも、中核病院として、岐阜地域の医療に貢献している。

院長メッセージ



山田 誠
(外科)

当院はDPC特定病院群（大学病院に準ずる病院）の指定を受け、地域がん診療連携拠点病院、地域医療支援病院、災害拠点病院、がんゲノム医療連携病院、紹介受診重点医療機関等にも指定され、地域で高度急性期医療を担う中核病院としての役割を担っています。機能に見合う充分な実績もあり、充実した臨床研修が可能な環境が整っています。

そして、手術支援ロボット（ダビンチXi）等の高度医療機器も完備しており、各分野の専門医も多数在籍しておりますので、先端医療の研修に関しても充分期待に答えられると考えています。

また、コロナ禍で中止となっていた職員の親睦を深めるためのイベントも、以前と同様に開催されるようになり研修医にも好評です。当院研修医の声もホームページに掲載していますので、是非参考にしていただき、志高い多くの皆さんがあなたに初期臨床研修に来ていただけることを心よりお待ちしております。

指導医メッセージ

平成16年度から開始された研修医制度も22年目を迎え、当院では225名が初期臨床研修を修了して巣立ち、各領域で活躍しております。そして、令和7年4月は16名の新研修医を迎えてスタートしました。当院では、岐阜市民病院臨床研修の理念と基本方針を掲げ、社会人として医師として社会に貢献できる人材の育成に心掛けてまいりました。そのために、卒後臨床研修評価機構の認定を受けて外部の評価を取り入れながら、また研修医や研修修了後の若手医師の意見も聞きながら、より充実した研修環境の整備と研修プログラムの改善に研修管理委員会を中心として常に取り組んでいます。

研修医メッセージ

当院の研修の特徴は、救急プログラムにおいて、1年目、2年目が同時に回ることで屋根瓦式に知識を深めることができます。また、選択制ですが、1年目から脳外、整形、泌尿器、耳鼻、小児、産婦人科を回るため、救急で診るような緊急疾患について早い段階から対応できる知識・技能を身につけることができます。さらに夜間休日の救急外来において、指導医・上級医の指導の下全ての患者を自分で診察し、検査・治療をオーダーします。全例上級医がコンサルトしますので、困ったときや分からない時のフォローアップ体制が整うことでスキルアップが図れます。当院の先生方、看護師さんは非常に優しく、スタッフとのイベントも色々あります。夏休みを取得するともできますので、仕事もプライベートも充実した研修生活を送りたい方はぜひ来てください！

研修スケジュール

プログラム IX	1年次	26週					6週	4週	4週	4週	6週						
		内科系 ^{*1}															
	2年次	4週	4週	4週	2週 ^{*4}	30週					自由選択						
備考	※1 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、総合内科を各4週、脳神経内科と腎臓内科を各3週の計26週					※2 外科4週、呼吸器外科・心臓血管外科か乳腺外科のいずれかを2週選択の計6週											
	※3 脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、産婦人科から2週単位で計6週選択					※4 4週間の午前のみ市内のクリニックで研修を行う（実質2週）											
	* 救急研修を1・2年次に屋根瓦方式で段階的に研修、一般的の疾患から専門性の高い疾患まで幅広い対応力を修得できる																

備考
※1 消化器内科、循環器内科、呼吸器内科、血液内科、総合内科を各4週、脳神経内科と腎臓内科を各3週の計26週
※2 外科4週、呼吸器外科・心臓血管外科か乳腺外科のいずれかを2週選択の計6週
※3 脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻いんこう科、産婦人科から2週単位で計6週選択
※4 4週間の午前のみ市内のクリニックで研修を行う（実質2週）

* 救急研修を1・2年次に屋根瓦方式で段階的に研修、一般的の疾患から専門性の高い疾患まで幅広い対応力を修得できる

研修協力病院・施設

協力型臨床研修病院

岐阜大学医学部附属病院

臨床研修協力施設

国保坂下診療所
国保上矢作病院
美濃市立美濃病院
東白川村国保診療所
高山市国保朝日地域診療所
揖斐郡北西部地域医療センター
県北西部地域医療センター国保白川診療所
シティ・タワー診療所
操外科病院
ゆりかご助産院

岐阜県立下呂温泉病院

県北西部地域医療センター国保和良診療所
岐阜市保健所
下呂市立小坂診療所
高山市国保庄川診療所
郡上市民病院
県北西部地域医療センター国保白鳥病院
高山市国保高根地域診療所
医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック
矢嶋小児科小児循環器クリニック

下呂市立金山病院
岐阜県赤十字血液センター
高山市国保久々野拠点診療所
高山市国保清見診療所
鷺見病院
県北西部地域医療センター国保高鷺診療所
飛騨市民病院
あんどう内科クリニック
医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック

後期研修・専門研修（予定）

（内科）当院は内科の基幹病院として、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、総合診療・膠原病内科、腎臓内科、脳神経内科の各課専門医のもとで、バランスの取れた十分な研修を行うことができます。また県内外の多くの病院と連携をとっており、様々な経験を積むことができます。

（精神科）当院を基幹施設とし、岐阜病院、各務原病院、養南病院の3病院を連携施設とするプログラムです。特色ある各施設での研修により、多くの症例を経験することができます。当院は地域でも数少ない有床精神科を持つ総合病院であり、他診療科と連携した症例も経験できます。また、連携施設の精神科単科病院にて、地域精神医療なども幅広く研修できます。

（内科・精神科以外）内科・精神科以外の診療科においても岐阜大学の各専攻医プログラムの主な連携施設となっており、各診療科の経験豊富な専門医のもと十分な研修を行なうことができます。

（全般）当院では、各診療科、各部門との垣根が低く、各診療科との連携も良いため、様々な臨床的な問題や疑問も解決しやすいことが特徴的です。このような恵まれた医療環境、教育環境の当院に多くの皆さんが来ていただけることを心よりお待ちしております。

研修プログラムの目標

医師としての基本的価値観を自らのものとし、基本的診療業務ができるレベルの資質・能力を修得することを目標としています。臨床における幅広い知識・技術を習得し、社会人として地域医療に貢献できるような、あるいは最先端の知識や技量を身につけ医療の進歩に貢献できるような医師を育てる研修を目指しています。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：16名（予定）

身分：会計年度任用職員（常勤）

給与：年額約8,000,000円（令和6年度実績）（諸手当含む。当直回数等で変動あり）

住居：あり（約19,000円～約25,000円。令和6年度実績）

保険：共済保険・厚生年金加入、公務災害補償有、医師賠償責任保険は病院で加入

研修プログラムの特徴

市中核病院ならではのCommon Diseaseから専門疾患まで広く実践的な研修が可能です。救急研修では、1年目と2年目の屋根瓦方式で行い、段階的に救急の知識・技術を研修する体制としています。さらに1年目の時点で、救急で遭遇することが多い専門科目（脳神経外科、整形外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科、産婦人科）を選択必修、小児科を必修としているため、幅広く救急に対応するための知識・技術が習得できるようにしています。

交通案内



連絡先

電話番号：058-251-1101
fax：058-252-1335
E-mail：c.kensyu01@gmhosp.gifu.jp

国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学医学部附属病院

病院の概要

開設時期：平成16年5月20日
開設者：国立大学法人東海国立大学機構 機構長 松尾 清一
院長名：秋山 治彦
病床数：614床
標榜科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、血液・感染症内科、脳神経内科、外科、消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、乳腺外科、産婦人科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、精神科、小児科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、矯正歯科、小児歯科、救急科、病理診断科、リハビリテーション科
医師数：385名
指導医師数：220名（指導医講習会修了者）
外来患者数：1,262名／日
入院患者数：565名／日
所在地：岐阜市柳戸1番1
URL：<https://www.hosp.gifu-u.ac.jp/>



病院の特徴

「優れた医学的知識や技術力に加え、共感力と思いやりを備え、専門家として継続的に学び、成長することを望む医師を育成する」の理念のもと、多彩な研修ニーズに対応できる、大学病院の特色を活かしたオーダーメイド研修が可能です。初期研修の期間中でも原則1ヶ月前までであれば診療科の変更が可能で、複数の関連施設での研修も組み込むことができます。

内科及び救急研修については原則1年目ですが最大2ヶ月、2年目において研修することができます（なお、救急については、2年目で研修する場合、協力型病院での救急外来研修（ER研修）に替えることもできます）。

詳細はプログラム冊子（ホームページで公開中）をご覧ください。

院長メッセージ



岐阜大学医学部附属病院は、社会と医療のニーズに応え、患者さんのため全ての病気を安全に、そして安心して治療を受けていただける信頼される病院として発展してきました。

- ①岐阜県の特定機能病院として高度な医療を提供する病院
- ②地域医療機関との連携中核病院
- ③先進医療と臨床研究を推進し、新たな標準治療を創生する病院
- ④地域と国際的に活躍する医療人の育成を行う病院
- ⑤働き方改革のもと職員が働きやすい職場環境を整備している病院

岐阜大学医学部附属病院では、病院作りのグランドデザインとして取り組んでいます。岐阜大学病院プログラムでは、研修医の皆さんとの教育と育成に対して卒後教育から生涯教育というシームレスな研修体制を、多くの診療科の指導医により取り組んでいます。岐阜大学病院は多くの疾患で習熟するだけでなく、口ボット支援手術や最新の高難度治療を早くから経験できる多彩なプログラムを用意しています。各種ハンズオンセミナー開催、学会参加、海外研修、充実した専門医プログラムなど、一人ひとりの医師として将来のキャリアを見越した充実した多彩な研修を通して、研修医の皆さんの熱意に応えるよう責任を持って全力でサポートいたします。

指導医メッセージ

岐阜大学病院プログラムではあなた自身のニーズに適した初期研修が実現できます。「市中病院と大学病院のいいところ取りなんて本当にできるの?」「診療科の選択自由度が高いって本当?」そういった研修医の要望に応えて、市中病院1年、大学病院1年のたすき掛けコースや、協力型病院以外にも保健所、健診センター、献血センターといった保険・医療行政機関も選択できる大学病院2年コースを用意しております。それ以外にも急性期、外科、周産期、地域医療に特化したコースもございます。9か月の選択自由期間は、自分の将来希望する診療科をがっつり回るも良し、周辺の診療科を回っておくも良し、ドクターヘリに乗るも良し!本当に自分の希望する大学内外の診療科・行政機関で研修可能です。

研修する医療機関、診療科の選択肢は圧倒的に多く、きめ細やかな指導を受けられるのは県内唯一ですので、ぜひ岐阜大学病院で研修しましょう。

研修医メッセージ

岐阜大学病院の研修は、本当にフレキシブルで予定を組みかえることも可能です。学生時代は全く考えていなかった公衆衛生分野に進むかも、と思ったときに保健所へ研修に出かけられたのも自由度の高さのおかげでした。

また自分の志望科にあまり関係がなさそうで興味がなかった診療科でも、詳しく丁寧に指導していただき、進路の選択肢の一つになることもありました。

志望科が決まっていなければ非常に多くの診療科を回ることも可能ですし、志望科が決まっていればいち早く志望科でどっぷり研修することや周辺の診療科で研修することも可能です。

「自分の将来は自分で決める!」を体現できるのは岐阜大学病院プログラムでしょう。

研修スケジュール

大学病院は指導医が豊富であることが強みであり、このことは研修スケジュールにおいて柔軟な選択オプションを可能にしました。初期研修の進行中でも、コース内容を途中変更することが可能です。

岐阜大学病院 プログラム	6ヶ月						3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	
	内科選択			救急	小児科	産婦人科					
1年次	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	9ヶ月	自由科目						
2年次	麻酔科	地域医療	外科								

コース1：2年一貫岐阜大学病院で原則研修する。

コース2：1年次を岐阜大学病院で研修し、2年次を協力型臨床研修病院で研修する。

コース3：1年次を協力型臨床研修病院で研修し、2年次を岐阜大学病院で研修する。

コース4：救急や外科に特化した急性期コースや外科医エキスパート養成コースを用意。※外科医エキスパート養成コースでは外科系診療科から研修を開始できる。

コース5：東濃・飛騨出身の地域枠学生に推薦するプログラムで、東濃・飛騨地域の研修病院と岐阜大学病院とのたすきかけ研修が可能。

岐阜大学病院 周産期 プログラム (産婦人科コース)	6ヶ月						3ヶ月	3ヶ月
	1ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	5ヶ月		
1年次	内科選択	救急	病院が定める必修科目または自由科目					
2年次	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	外科	病院が定める必修科目または自由科目		

岐阜大学病院 地域医療重点 プログラム	6ヶ月						3ヶ月	3ヶ月
	3ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	5ヶ月		
1年次	内科選択	救急	病院が定める必修科目または自由科目					
2年次	地域医療	小児科	産婦人科	精神科	外科	病院が定める必修科目または自由科目		

全てのプログラムにおいて、分野により協力型病院、協力施設で研修を希望する場合は、岐阜大学病院における研修が1年以上確保できることを前提に可能。
病院が定める必修科目：外科1（心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科）、乳腺外科から4週単位で1科目、外科2（脳1で選択した外科以外の、心臓血管外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科から4週単位で1科目、または、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、皮膚科、泌尿器科から2週単位で2科目または4週単位で1科目）を必修とする。

研修協力病院・施設

協力型研修病院	岐阜県総合医療センター	岐阜市民病院	社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院	岐阜県立下呂温泉病院	高山赤十字病院
岐阜赤十字病院	飛騨医療センター久美愛厚生病院	中部国際医療センター	岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院	社会医療法人志聖会大山中央病院	聖路加国際病院
羽島市民病院	岐阜県立鶴舞病院	医療法人香徳会関中央病院	朝日大学病院	独立行政法人国立病院機構長良医療センター	愛知県かんセンター
一宮市立市民病院	彦根市立病院	郡上市民病院	美濃市立美濃病院	大垣市民病院	独立行政法人国立病院機構豊橋医療センター
岐阜市立市民病院	岐阜市立病院	総合大垣会病院	大垣市第一病院	岐阜市立公済組合東海中央病院	医療法人徳洲会大垣徳洲会病院
岐阜勤労者医療センター	岐阜勤労者医療センター	地方独立行政法人岐阜県立多治見病院	岐阜市立多治見病院	岐阜市立公済組合東海中央病院	岐阜市立公済組合東海中央病院
岐阜勤労者医療センター	みどり病院	岐阜西病院	公立陶生病院	社会医療法人厚生会 多治見市民病院	岩手県立 磐井病院
協力施設	中津川市国民健康保険坂下診療所	北西部地域医療センター国保和良診療所	岐阜市立金山病院	岐阜市立白鳥病院	国民健康保険 上矢作病院
市立	市立太田病院	岐阜市立金山病院	岐阜市立金山病院	岐阜市立白鳥病院	医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
千歳病院	下呂市立 千歳病院	岐阜市立北西部地域医療センター	下呂市立 小坂診療所	岐阜市立白川村国保診療所	久々野拠点診療所
高山市国民健康保険庄川診療所	高山市国民健康保険清見診療所	高山市国民健康保険清見診療所	岐阜市国民健康保険南高山西地域医療センター	岐阜市国民健康保険高山西地域医療センター	高根地域診療所
医療法人徳洲会	岐阜市国民健康保険清見診療所	岐阜市国民健康保険清見診療所	谷汲中央診療所	岐阜市国民健康保険高山西地域医療センター	岐阜市北西部地域医療センター 白川村国民健康保険
白川診療所	岐阜市国民健康保険清見診療所	岐阜市国民健康保険清見診療所	岐阜市国民健康保険清見診療所	岐阜市北西部地域医療センター 国保高齢診療所	医療法人かがやき総合在宅医療クリニック
岩砂病院	岐阜ハートセンター (循環器科・心臓血管外科)	岐阜ハートセンター (循環器科・心臓血管外科)	沼口医院	白川病院	岐阜市北西部地域医療センター 白川村国民健康保険

後期研修・専門研修（予定）

新・専門医制度に関しては、19の基本領域で基幹施設となります。新制度では専門医資格取得に必要な症例のうち、一定数を初期研修時に経験した症例を充てることができます。そのため、初期研修から専門医研修へのスムーズな移行は、専門医資格取得のためには重要です。

「早く・確実」に専門医、指導医、サブスペシャリティを取得したい場合、「シームレス」な大学病院の研修が有利です。

岐阜大学病院専門研修プログラム

（令和7年度参考）

専門領域	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	形成外科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	リハビリーション	総合診療
定員	25	13	9	10	20	8	20	4	6	2	7	8	9	10	4	1	8	2	6

研修プログラムの目標

岐阜大学病院プログラム
必修選択により先ずプライマリケアに関する研修の到達目標をクリアし、指導医評

岐阜赤十字病院

病院の概要

開設時期：大正12年
開設者：日本赤十字社 社長 清家 篤
院長名：長島 賢司
病床数：311床
病牘科：消化器内科、血液内科、感染症科、循環器内科、呼吸器内科、甲状腺・糖尿病内科、脳神経内科、総合診療科、腎臓内科、外科、甲状腺外科、精神科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、眼科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、リハビリテーション科、リウマチ科、産婦人科、大腸・肛門科、放射線科、麻酔科、内視鏡科、病理診断科

医師数：60名
指導医師数：30名
外来患者数：564名／日
入院患者数：169名／日
所在地：岐阜市岩倉町3-36
URL：<https://www.gifu-med.jrc.or.jp/>



病院の特徴

当院は、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足し、昭和24年に岐阜赤十字病院と改称、昭和37年に現在地に移転し、増改築を繰り返し現在に至っております。

病院の特徴については、①災害拠点病院、②1種感染症指定病院・2種感染症指定病院、③地域医療支援病院があります。①については、岐阜市において4病院が指定されており、地震・津波・台風等の災害発生時には災害医療を行う医療機関の支援をする病院に指定されております。②については、岐阜県において唯一の1種感染症指定病院となっており、エボラ出血熱などの患者が発生した際には保健所を通じて患者を診察します。③地域医療支援病院については、岐阜県において9病院が指定されており、地域で必要な医療を確保するためにかかりつけ医やその他の病院から、より詳しい検査や専門的な治療が必要な患者様について紹介を受け、病診連携、病病連携を図っております。

診療については、甲状腺・糖尿病内科と外科が連携し、甲状腺外科手術を数多く行っております。その外科においては、肛門外科手術、また、眼科の白内障手術については、県下トップレベルの手術件数です。女性泌尿器科（ウロギネ）についても他の病院には無い分野となっております。

臨床研修病院としては、卒後臨床研修機能評価機構（JC E P）による「臨床研修評価」を受審し、より質の高い研修内容を目指しております。

院長メッセージ



当院は全国に91施設ある赤十字医療施設の一つで、大正12年に日本赤十字社岐阜支部常設救護所として発足した病院です。人道、博愛の精神のもとに、岐阜市北部の中核病院として急性期から在宅医療まで幅広く地域医療を支えています。

赤十字には使命の一つに人材育成があります。プライマリー・ケアが適切に行える知識や技術の習得はもちろんのこと、赤十字精神をもち全人的診療を行えるように研修医を育成することも使命と考えています。また、平成29年には卒後臨床研修評価機構の基準を満たし認定病院となりました。

当院は指導医とのマンツーマン方式による指導を基本としており、中規模病院の特性を生かした病院全体で垣根のない研修をサポートします。また赤十字グループのネットワークを活用し、県内外の赤十字施設で院外研修が行え、他施設で働く多くの研修医との交流も出来ます。

ぜひ、当院と一緒に研修しましょう。

指導医メッセージ

当院はこれまで、研修をより良いものにするため、プログラムの変更を重ねてきました。

2年次は、秋田赤十字病院での救急救命センターでの研修を行っています。救急専門医の指導を受ける機会はまたとない経験になるものと思います。研修医による症例検討を月1回実施しております。希望があればいつでも見学OKです。ご連絡ください。

当院は、中規模病院で小回りが効くという特徴を活かし、研修医の要望に沿って自由度の高い研修を行っています。2年次は必修研修を短期間とし、本人の希望する内容の研修を手厚く受けられるよう配慮しています。研修医の募集は少人数で、各科を重複しないように研修を行っています。一人一人の研修をその科全体でバックアップする体制としています。

当院の研修医と会って、彼らの声を実際聞いて見てください。見学をお待ちしております。

研修医メッセージ

岐阜赤十字病院における臨床研修の最大の特徴は、少人数制で研修内容に研修医自らの意見が反映され、実践できることです。少ない期間の中いかにして多くのことを学び、実践できるようになるかは、研修医と指導医のコミュニケーションと工夫によるところが多いのが現実です。そういう点で、岐阜赤十字病院は、指導医の先生との相談によって自らの研修を組み立てられます。

様々な科で別々のことを学んでいるようではありますが、実際はそれらが少しづつオーバーラップし、日々積み重なっていくを感じている毎日です。より多くのことを学ぶチャンスに恵まれている岐阜赤十字病院で一緒に研修しませんか。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、他施設で初期臨床を中断された方の受け入れを行っています。研修再開につきましては、ご本人の要望を尊重し、中断前の研修実績を考慮した上で、スムーズな研修が行えるよう病院全体でサポートさせていただきたいと思っています。

研修再開のご相談や病院見学等、隨時受け付けておりますので、お気軽にお問い合わせください。

研修スケジュール

1年次では必須の診療科を中心に研修を行い、それ以外の期間（1年次の49週目以降）では、各研修医が希望に沿った診療科で研修します。必須の診療科の期間を短期間として、選択できる期間を長く設定することで希望の診療科での研修を手厚くしています。また、ローテートを各診療科ひとりとなるように配慮いたします。

1年次	内科 (消化器内科、血液内科、循環器内科、呼吸器内科、甲状腺・糖尿病内科、腎臓内科、総合内科・リウマチ科) (26週)	外科 (4週)	整形 外科 (2週)	泌尿 器科 (2週)	救急 科 麻酔科 (救急蘇生) 救急外来 (4週)	一般 外来研修 (4週)	選択※ ¹ 院内 (6週)
2年次	院外※ ² 精神科 (4週) 小児科 (4週) 産婦人科 (4週) 救急(三次) 秋田日赤 (4週) 地域医療 (4週)	選択※ ¹ 院内または院外※ ² (32週)					

診療科のローテートは1クール4週（選択は1週～4週までの短い期間の研修も可能）

※1院内の全診療科または協力病院・施設にて希望する診療科で研修します

※2院外研修先は協力病院・施設から選んでいただき研修します

研修協力病院・施設

□協力病院 高山赤十字病院 各務原病院	旭川赤十字病院 岐阜大学医学部附属病院	日本赤十字社愛知医療センター 名古屋第一病院 岐阜県総合医療センター	秋田赤十字病院 岐阜市民病院
□協力施設 揖斐郡北西部地域医療センター	高木医院 美濃市立美濃病院	石村内科 岐阜県赤十字血液センター	小牧内科クリニック

後期研修

当院は、連携施設として岐阜大学医学部附属病院などの基幹病院と連携して後期研修を行うことが可能です。診療科については、内科、外科、整形外科、泌尿器科、放射線科、麻酔科などがあります。

研修プログラムの目標

赤十字の理念のもと、基本的な臨床の知識と技能を身に着けると共に、患者、家族、他の医療スタッフとの間に良好な人間関係を築くことを目標とする。

研修プログラムの特徴

①マンツーマン研修

少人数のため、全ての職員が研修医の顔と名前を覚えており、温かい人間関係の中で研修ができます。また、1診療科1人の研修体制のため指導医と共にマンツーマンで指導を受けることができます。

②オーダーメイド研修

1年次の終わりからのローテート（必須の診療科以外の最大8か月間）は本人の希望に沿って決めていくため、非常に自由度の高い研修が可能です。途中の進路変更にも柔軟に対応いたします。

③実践型の研修

多様な症例に対して、研修医が主体的に関わって研修しています。やりたいことを自身の希望に合わせてどんどん研修できます。

④地域、他の赤十字施設との連携した研修

赤十字のネットワークを活かして、特徴ある診療科を持つ全国の赤十字病院や、地域の医療機関での院外研修が可能です。

⑤ワークライフバランス

宿直、日直を除いて時間外の業務、呼び出しはございません。

募集要項

応募資格：I 令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
II 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：4名（予定）

身分：常勤嘱託

与：1年次：460,000円（賞与700,000円／年）

年収平均：8,219,301円（R6年度実績）

2年次：535,000円（賞与1,100,000円／年）

年収平均：9,850,030円（R6年度実績）

手当：通勤手当、時間外手当、特殊勤務手当、年末年始手当

住居：単身用8室（1DK月額16,000円）

保険：雇用保険、健康保険、厚生年金保険、労災保険、勤務医師賠償責任保険

交通案内



JR岐阜駅、名鉄岐阜駅より岐阜バス「加納南線」乗車「岐阜赤十字病院前」停留所下車徒歩5分
お車でのお越しは、長良川にかかる金華橋、忠節橋を目印にしてください。

連絡先

岐阜赤十字病院 総務課 臨床研修担当

電話番号：058-231-2266

fax：058-233-7772

E-mail：kensyu@gifu-med.jrc.or.jp

朝日大学病院

病院の概要

開設時期：昭和48年4月1日

開設者：学校法人朝日大学

院長名：日下 義章

病床数：381床（稼働病床数275床）

病棟科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、放射線診断科、外科、消化器外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、形成外科、リウマチ科、リハビリテーション科、眼科、泌尿器科、婦人科、頭頸部外科、耳鼻咽喉科、心臓血管外科、麻酔科、病理診断科、放射線治療科、歯科、歯科口腔外科、皮膚科

医師数：61名

指導医師数：26名（指導医講習会受講者）

外来患者数：504名/日

入院患者数：209名/日

所在地：岐阜市橋本町3-23

URL：<https://www.hosp.asahi-u.ac.jp/>



病院の特徴

本院はJR岐阜駅から徒歩7分という交通アクセスの良い立地と専門性の高い医療を特徴としています。
中規模病院であるため組織に埋没することなくヒューマンな職場環境で最適な研修環境を提供することができる病院です。

院長メッセージ



日下義章
(整形外科)

朝日大学病院は24の診療科と8つの医療センターを擁する岐阜地域における中核病院であり、朝日大学の歯学部および保健医療学部の教育研究施設としての機能を併せて持ちます。
朝日大学病院の基幹をなす医療は急性期医療です。救急を含む急性期患者を積極的に受け入れて高度で専門性の高い医療を実践しています。研修医の先生には各分野の経験豊富な専門医の指導のもとに、数多くの臨床経験を積んでいただけるように配慮しています。当院では急性期を過ぎた患者さんにも回復期リハビリテーション病棟、そして地域包括ケア病棟が病院内に整備されています。このため、急性期を過ぎて亜急性期に至る患者さんの経過を診ることが可能であり、患者さんと向き合える環境があります。

私の学生時代に著名な教授の退官記念講義がありました。そこで教授は「教科書に書いてあることは嘘だと思え」と言ったのが印象的でした。乱暴なことを言う先生だと思いましたが、後に医師として経験を積み研究をしてその意味がわかりました。研修医の皆さんには、学生時代に教科書を使って莫大な量の知識を吸収してこられたことと思います。これは今後に不可欠な知識であることは間違いません。しかし、医療の現場では教科書通りに行かないことが山程あります。医学の進歩とともに教科書を書き換えることや、究明されていないことが山積みであることに気付きます。教科書の知識を土台にして、これからは患者さんと向き合うことを大切にしてください。教科書以上に教わることが多くあります。常にクリエイティブな発想を持ち、疑問に思うことがあればこれを探求する心を忘れないでください。

朝日大学病院は確かな診療技術と良好なコミュニケーション能力を兼ね備え、患者さんの立場に立って物事を判断できる医師を目指して研修していただけるように、皆様を支援します。

指導医メッセージ

岐阜駅から徒歩7分の好立地で、急性期から生活期まで一貫した医療を研修できます。産科、小児科、精神科、心臓外科、形成外科、地域医療は専門性の高いユニークな協力病院群での研修が可能です。カスタマイズ可能な自由度の高い研修プログラムが特徴です。少人数なので指導や症例に事欠くことはありません。焦らず競わず自分のペースで研修できます。

患者さんやその家族に寄り添うことが医療の原点です。人の気持ちを汲むことができる医師になりましょう。医師人生のスタートとなる2年間を当院でぜひ。他人と同じことが正解ではなく、違いは間違いではありません。
どこよりも「自分らしい」研修ができるよう、全力でサポートします。

研修医メッセージ

研修医その1

当院では研修医の人数が少ないため、自由度が高い研修が可能です。各診療科に1名ずつ配属されるため、上級医の指導を独占でき、密度の高い学びが得られます。また、機会が少ない手技や希少な症例を研修医同士で競い合う必要がない点も大きな魅力の一つです。さらに、少人数制ならではのメリットとして、研修医の習熟度に応じた柔軟な指導が受けられる点が挙げられます。一人ひとりのペースに合わせた研修が可能なため、効率よくスキルを習得できます。また、当院では学会参加や講習会受講のサポートが充実しており、積極的に院外での発表や研鑽を積むことができます。実際に、国内外の学会で複数回発表を行っている研修医もあり、幅広い経験を積む機会が提供されています。

研修医その2

当院の魅力は、研修の自由度の高さにあります。選択期間が40週と長く、次のローテーション先も数か月前までに決めればよいため、興味の変化や進路に応じて柔軟に調整できます。各診療科での研修には決まったタスクがなく、自分の目標に合わせて自由に設計することができます。また、産婦人科・小児科・精神科・地域医療は他施設での研修となります。だからこそ、当院とは異なる環境で多様な症例や手技を経験することができます。さらに、指導医の先生方が、3年目以降の進路に寄り添いながら、個々のキャリアを見据えた研修をサポートしてくれる点も、大きな魅力です。他の病院にはない、自分に合った研修を実現できる環境が整っています。

研修スケジュール

下記研修スケジュールを修了し、プライマリー・ケアを中心とした基本的な診療能力を身につけることで、日常診療で遭遇する頻度の高い病気や病態に適切に対応できるようにします。

また、研修環境は、消化器内科では内視鏡的手術、循環器内科では心臓カテーテル、外科では腹腔鏡手術及び脳神経外科では脳血管内手術と日常はもとより緊急時にも対応できる環境にあります。

協力型病院等、各施設の専門性をいかんなく發揮し、充実した研修ができるスケジュールです。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	オリエンテーション 内科①・外科	内科②	内科③	内科④	内科⑤	内科⑥	一般 外来	救急 救急科	救急 麻酔科	小児科		
2年次	精神科	地域医療	産婦人科									選択科

研修協力病院・施設

独立行政法人国立病院機構 長良医療センター

高山赤十字病院

医療法人静風会大垣病院

岐阜市民病院

本巣市国民健康保険 根尾診療所

岩砂病院・岩砂マタニティ

医療法人澄心会 岐阜ハートセンター

社会医療法人蘇西厚生会 松波総合病院

あいち小児保健医療総合センター

大垣市民病院

医療法人社団 いちだクリニック

医療法人杏野会各務原病院

後期研修

本院整形外科は、研修プログラムの認定を受け、地域Ⅱ型基幹病院となり、昭和大学と連携しながら、地域医療に貢献できるプライマリ・ケアから療養・介護を含む老人医療を担える、幅広い視野をもった整形外科医を育てる目標とし、専門研修を行っています。

また、その他の診療科についても連携施設として、岐阜大学医学部附属病院、京都府立医科大学病院、名古屋大学医学部附属病院などの基幹病院と連携して専門研修を行うことができます。

研修プログラムの目標

朝日大学病院の理念に基づき、研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に係わる疾患に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を修得し、確かな医療技術を持つつ、患者の視点に立った全人的医療のできる医師を養成する。

研修プログラムの特徴

- 完全マンツーマンの研修体制
(少人数制だからこそ指導医を独り占めできる。各科1人のみの受入れにより指導体制を強化)
- フレキシブルな研修プログラム
(事前に決められた科を回るのではなく、その都度行きたい科を自分で選択できるため、自由度が高く満足のいく研修が可能)

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者（原則として取得後1年以内）

募集人員：4名（予定）

身分：臨床研修医

給与：①基本給 434,400円

②その他手当：通勤手当、宿日直手当、住居手当、超過勤務手当

③期末手当 1年次 837,900円 2年次 1,077,300円

年間支給額：1年次(7,200,000円)、2年次(7,400,000円)

住居等：宿舎なし ただし、規程に基づき住居手当支給

保険等：雇用・労災・健康・厚生

交通案内



独立行政法人国立病院機構長良医療センター

病院の概要

開設時期：平成17年3月1日

開設者：独立行政法人国立病院機構

院長名：加藤 達雄

病床数：400床

標榜科：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、緩和ケア内科、小児科、神経小児科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、小児外科、産婦人科、放射線科、アレルギー科、リハビリテーション科、歯科

医師数：19名

指導医師数：7名

外来患者数：153.3名／日

入院患者数：264.4名／日

所在地：岐阜市長良1300-7

URL：<http://www.hosp.go.jp/~ngr/>



病院の特徴

①病院の特徴

地域社会のニーズに対応した3つの専門的な医療を行います。

成人系呼吸器・循環器疾患部門 呼吸器内科・呼吸器外科・循環器内科

成育医療部門 小児科・神経小児科・小児外科

障害児・者医療部門 筋ジストロフィー・重度心身障害

院長メッセージ



加藤達雄

当院は、呼吸器内科、呼吸器外科、小児科、小児外科、重症心身障害者医療等を中心とする病院です。それぞれの科で専門性の高い診療を行っており、これらの科に興味ある研修医にとっては有意義な研修を提供できる病院であります。当院にない科に関しましては、岐阜市内にある朝日大学病院をはじめ他病院に行って研修を受けてもらっています。複数の病院で研修することは、それぞれ異なる環境や雰囲気を経験することできこれも有意義であると考えています。また当院は緑多き閑静な住宅地にあり、近くには長良川・金華山・岐阜城など風光明媚な場所も多くあり、落ち着いた研修ができます。

指導医メッセージ



安田邦彦

専門性の高い診療科が集まっており、協力病院の朝日大学病院（岐阜市内）名古屋医療センター等と提携し、経験豊かな指導医の基で十分な研修を受けられる環境と、各年次2～3名の少人数制を生かした、質の高い研修が可能です。2年次の選択研修では自主性を重んじたコースの選択が可能です。幅広い視野を持ち、医療スタッフ・患者様との人間関係を構築できる、意欲ある研修医を求めています。

研修医メッセージ

長良医療センターでの臨床研修の特徴は2つあります。

1つめは、呼吸器内科、呼吸器外科、循環器内科、小児科では特に専門性が高く充実していることです。呼吸器では結核病棟を有しており、小児科では多くの分野にわたっての診療を行うなど、この病院でしか研修できないことがあります。また、当病院の上級医は10年目以上のベテランの医師が中心となっており、研修医の指導が充実しています。

2つめは、募集人員が2名と少ないことです。同期が少ないとデメリットのように思われるかもしれませんが、研修医の数が少ない分一人の研修医に対して多数の上級医に指導してもらえ、また、一人の研修医に充てられる症例の数は多くなり研修医の多い病院に比べるとより多くの経験を積むことができます。

当院は総合病院ではないので一つの病院だけでは全部の科を修了することができます、他の協力病院でも研修を行うことになります。それは内容の違う病院を経験する機会にもなりますし、またその診療科の専門性をもった病院で研修を受ける機会にもなります。

長良医療センターでは、研修医中心の柔軟な研修を受けることができます。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

研修スケジュール

選択科目は、長良医療センターまたは朝日大学病院で14科目の中から選択できるシステムになっております。

長良医療センター	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次			内科				救急					選択必修科目
2年次	地域	選択必修科目					選択科目					

研修協力病院・施設

研修協力病院

朝日大学病院

公益社団法人岐阜病院

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター

岐阜市民病院

岐阜大学医学部附属病院

研修協力施設

本巣市国民健康保険根尾診療所

岐阜ハートセンター

専門研修（予定）

専門性の高い医療環境の基で、専門性の高い診療技術とそれに相応える知識と経験を積み、専門医資格の取得を目指します。

小児科：岐阜大学小児科専門医プログラム

外科：京都大学外科専門研修プログラム

外科：岐阜大学外科専門研修プログラム

研修プログラムの目標

研修医が医師としての人格を涵養し、将来専門とする分野にかかわらず一般的な診療において頻繁にかかる疾病に適切に対応できるよう基本的な診療能力を修得し、患者の視点に立った全人的医療のできる医師を養成する。

研修プログラムの特徴

- 各年次2～3名以下と少人数制のため、質の高い充実した研修が可能である。
- 当院の特徴として、呼吸器、小児、障害者の医療について十分な研修を行える体制を備えている。
- 選択研修では研修医の自主性を重んじたコースの選択が可能である。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：3名（予定）

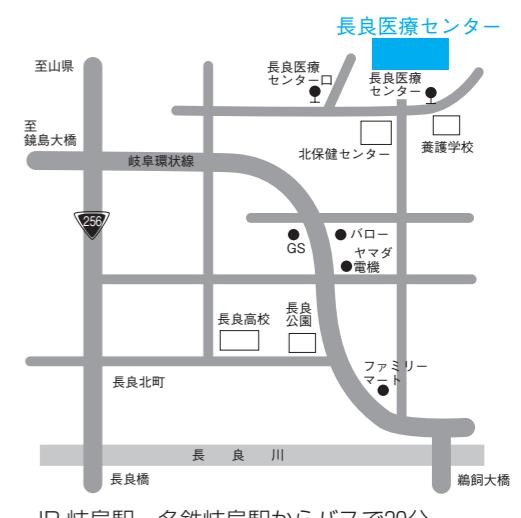
身分：期間職員

給与：月給制で月額590,000円程度、時間外手当・当直手当等有り

住居：病院宿舎（独身用）有ります

保険：健康保険、雇用保険、労災保険、厚生年金保険適用

交通案内



羽島市民病院

病院の概要

開設時期：昭和30年10月8日

開設者：羽島市

院長名：山田 卓也

病床数：281床

病床榜科：内科、腎臓内科、血液内科、内分泌・糖尿病内科、リウマチ科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、臨床検査科、人工透析内科

医師数：31名

指導医師数：19名

外来患者数：394名／日

入院患者数：182名／日

所在地：羽島市新生町3-246

URL：<https://www.hashima-hp.jp/>



病院の特徴

当院は岐阜県南部にある2次救急を担う急性期医療と回復期医療を併せ持つ羽島市内唯一の公立病院です。“心のかよう医療を通じて地域に貢献します”を病院理念とし、地域の人々の健やかな暮らしをお守りしています。また、一刻を争う救急医療をはじめ26の診療科を標榜し、最新レベルの医療機器や設備を備え、高度な検査や治療が速やかにできる体制を整えています。

当院では、患者さん一人ひとりに対し医師、看護師、薬剤師、理学療法士など必要な分野の医療スタッフがチームを組み、情報交換などを図りながら対応するチーム医療に力を注いでおり、トータルサポートを積極的に推進しています。

院長メッセージ



山田 卓也

羽島市民病院では、4名の新規研修医を募集いたします。当院は、新幹線岐阜羽島駅、名神高速道路岐阜羽島インターに近く交通が非常に便利な場所にあり、急性期医療を担当する公立（市立）の病院です。身分は市の正規職員（地方公務員）となります。現在、常勤医師は岐阜大学の出身者が多いのですが、複数の大学の出身者が研修しております。施設面では、病棟は免震・耐震構造となっており、電子カルテ運用及び画像システムを導入しています。研修は、研修医の自主性を尊重し、学会・研修会への参加を積極的に行っています（公費にて）。初期研修修了後には後期研修プログラムがあります。また、研修医専用の研修室、カンファレンス室、仮眠室（女性医師用もあり）を設置しています。救急医療センターでは、年間約2,000台の救急車を受け入れており、研修医1人あたりの救急疾患の症例は多数あります。ぜひとも、一度病院を訪問して雰囲気を確認してください。

プログラム責任者メッセージ

当院は、羽島市（人口約7万人）及び周辺地域の中核病院であり、二次救急を担っています。年間約2,000台の救急車を受け入れており、救急の現場を十二分に経験することができます。

一方、超高齢化社会の今、急性期医療だけでなく、回復期・慢性期の医療や在宅・施設入所への橋渡しも重要な仕事です。当院では地域包括ケア病棟もあり、こうした医療も学ぶことができます。

当院では現在1・2年次計7名が研修生活を送っておりますが、地元岐阜大学だけではなく、様々な大学の出身者で構成されています。少人数の利点を活かし、研修プログラムは柔軟に対応可能です。中規模病院である当院では各診療科の垣根は低く、メディカルスタッフの協力も厚く、研修医1人1人に寄り添った研修を病院全体で心がけています。ある程度の時間的な余裕もあるため、疑問点を一つ一つ解決しながら、忙しすぎる日々に流されることの無い充実した研修生活をすごせることだと思います。

名神高速道路岐阜羽島インターチェンジや新幹線岐阜羽島駅からも至近です。急性期から高齢者医療まで幅広い研修をお考えの方は、ぜひ一度見学にいらしてください。ご連絡をお待ちしております。

研修医メッセージ

当院のプログラムは自由度が高く、柔軟にローテーションを組むことができます。当院で研修できない診療科に関しては、大学病院などで研修することで大抵の科を選択することができ、当院ではcommon diseaseを、大学病院などではより専門的な疾患を学ぶことができます。また研修医の人数が比較的少ないため、経験豊富な上級医からマンツーマンで指導を受けられ、望めばいくらでも成長することができます。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

研修スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次			内科				救急			必修・選択科		
2年次		必修・選択科		地域医療				必修・選択科				

必修科目（内科24週、救急12週、外科4週、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週、地域医療研修4週）の研修を行い、残りの期間は研修医の希望に沿って診療科を必修科または選択科から選択する。

研修協力病院・施設

岐阜大学医学部附属病院（030361）

長良医療センター（066584）

高山赤十字病院（030366）

美濃市立美濃病院

河合胃腸科クリニック（032832）

大島内科・内視鏡 CLINIC（032834）

郡上市民病院（076550）

高山市

岐阜病院（031627）

後期研修・専門研修（予定）

後期研修は、各年次2名ずつ3年間計6名を募集しています。循環器内科、消化器内科、外科・消化器外科、内分泌・糖尿病内科にて後期研修プログラムを準備して応募を受け付けています。

研修プログラムの目標

- 日常的な疾患、外傷に対応できる基本的な診療能力を習得する。
- 適性な診断を行うために日常的な各疾患の重要性と特殊性について理解、習得する。
- 基礎的な疾患の正確な診断と安全な治療を行うための基本的手技を習得する。
- 基礎的な疾患に対して理解を深め、必要事項を医療記録に正確に記載できる能力を習得する。

研修プログラムの特徴

- 24時間救急医療体制により、研修目標を早期に充実した内容で習得可能である。
- 高度の修練した指導医のもと、熟練した中堅医師から面接指導が受けられる。
- 院内で定期的に開催される教育研修講演、セミナー、CPCなどに参加可能また、基礎的な研究発表を通じて手技習得に偏らない研修に配慮している。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者・医師免許取得者で、初期臨床研修を修了していないもの

募集人員：4名（予定）

身分：羽島市職員（地方公務員）

給与：給料1年次 約610,000円／月（手当含む）

2年次 約640,000円／月（手当含む）

賞与約960,000円／年（1年次）

約1,500,000円／年（2年次）

その他諸手当有（扶養、通勤、住居、時間外勤務手当等）

住居等：医師住宅有り（一部自己負担有・自治会費、光熱費、駐車場等は入居者負担）、賃貸住宅への入居者については、上限28,000円を支給

保険等：健康保険、年金 岐阜県市町村職員共済組合

交通案内



連絡先

電話番号：058-393-0111

f a x : 058-393-0821

E-mail: byoin-somu@city.hashima.lg.jp

公立学校共済組合東海中央病院

病院の概要

開設時期	昭和30年4月16日
開設者	公立学校共済組合 理事長 丸山 洋司
院長名	藤原 道隆
病床数	332床
標榜科	内科、神経内科、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、心療内科、緩和ケア内科、内分泌・糖尿病内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、形成外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科
医師数	62名
指導医師数	27名
外来患者数	584名/日
入院患者数	244名/日
所在地	各務原市蘇原東島町4-6-2
URL	https://www.tokaihp.jp/



病院の特徴

当院は、名古屋駅から真北に26kmの地点に位置し、岐阜市の東隣で、景勝地として有名な犬山からは木曽川をはさんだ対岸の各務原市に位置します。古くは中山道の宿場町で、現在も名鉄線、JR線、高速道路や幹線国道が走る交通の要衝です。

全国にある公立学校共済組合の8病院のひとつで70年の歴史を持っていますが、現在の本館は2011年の建築で、旧館も全面的にリニューアルされ、全般に比較的新しくきれいな施設です。急性期病院として地域医療に貢献する一方、公立学校教員の健康管理にも取り組んでいます。さらに、緩和ケア病棟や地域包括ケア病棟もあるので、幅広くさまざまな症例を経験することができます。標榜診療科28、病床数は332床で、年間延べ入院患者数9万人弱、年間救急搬送数3400件（いずれも2024年）です。

院長メッセージ



藤原道隆

各務原市は大都市圏にありながら、公園都市と言われているように緑が多くゆったりした時間が流れているように感じる街です。一方、名古屋や岐阜の中心街へのアクセスが良く、オフの過ごし方の選択肢にも不足を感じることは少ないでしょう。

上述のように、当院は中規模の総合病院で、患者数や救急搬送数も「ほどよい」規模感でワークライフバランスは良好です。急性期から緩和ケアまで幅広い症例がありますので、プライマリケアをじっくりと勉強したい方には最適の病院だと思います。スタッフも温かい雰囲気でストレスが比較的少なく、働きやすい職場です。

初期研修は、プライマリケアに必要な知識や技術を吸収しつつ、社会人としての基本、プロフェッショナルとして成長する基礎を身につけ、さらに将来にわたるキャリアパスを設定する重要な時期です。当院はこの時期を過ごすのに適していると思います。新しい人生のスタートを切る皆さんを、すこし先輩から大先輩に至る多種多様なスタッフが歓迎いたします。

指導医メッセージ

当院では、初期臨床研修の主な目標として、プライマリケアに必要な知識と技術の習得を掲げています。各務原市内唯一の総合病院として、人口14万人の地域において多くの症例を経験することができます。中規模の病院でありながら、指導医による丁寧な指導のもと、さまざまな手技を習得することができます。医師としての成長はもちろんのこと、人間としても成長できるよう、接遇教育にも力を入れています。また、研修医が抱える悩みにもしっかりと対応できるサポート体制が整っており、安心して学べる環境です。院内の医局は一つに統合されており、診療科間での相談もしやすく、チーム医療の中でコメディカルスタッフの親切なサポートを受けながら学びを深めることができます。アットホームな雰囲気の中で、自分のペースで研修を進めながら成長できる環境が整っています。地域医療に貢献したいという意欲を持った方をお待ちしています。

研修医メッセージ

当院は人口約15万人の各務原市にある総合病院です。初期研修の2年間は医師としての基本的な姿勢や知識の基礎を身につける時期なので、診療科を問わず様々な疾患を経験できる当院の研修プログラムは、実りのある時間を送ることができます。研修医各自が意欲的に取り組むことで、上級医の先生がたも熱心に指導をしてくださり、多くの手技・症例を早くから経験することができます。また、中規模の市中病院としては珍しく緩和ケア病棟があるなど、急性期のみならず様々な症例を研修できます。就業時間のメリハリが利いていて、プライベートの時間も充実しています。

実際に研修を始め、スタッフの皆さんも協力的でこの病院を選択して良かったと実感しています。皆さん、まずは一度、病院見学にお越しください。

研修スケジュール

1年次（内科：24週（一般外来研修：内科で並行研修）、救急：12週、外科：8週、自由選択：あり）
2年次（地域医療：4週、精神科：4週、産婦人科：4週、小児科4週、自由選択：あり）

例	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年次	内科					救急		外科		自由	
2年次	地域	精神	産婦人科	小児科	自由選択							

研修協力病院・施設

岐阜県総合医療センター（産婦人科・小児科）
各務原病院（精神科）
各務原リハビリテーション病院（地域医療）
松波総合病院（産婦人科）
岐阜大学医学部附属病院（産婦人科・小児科）

長良医療センター（小児科）
フェニックス総合クリニック（地域医療）
公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）
岩砂病院・岩砂マタニティクリニック（産婦人科）

後期研修・専門研修

以下の医療機関の連携病院となっており、各基幹病院の専門プログラムに沿って専門研修が可能です。

基幹病院	<岐阜県>岐阜大学医学部附属病院（内科、脳神経外科、小児科、泌尿器科、病理）／岐阜県立多治見病院（内科、外科）／松波総合病院（産婦人科）／大垣市民病院（内科）
	<愛知県>名古屋大学医学部附属病院（内科、外科、整形外科、眼科、病理）／愛知医科大学病院（内科）／小牧市民病院（内科）／春日井市民病院（内科）／一宮市立市民病院（外科）／名古屋医療センター（内科）

研修プログラムの目標

卒後早期に臨床研修を希望する医師が、指導医のもとで基本となる医学・医療に関する知識や診療技術を習得することにより、基本的臨床能力を身につけ、プライマリケアに対応できるようトレーニングを行うとともに、実際に医療現場で働きながら『医の倫理』を体得し、医師としての質の向上を図ることを目標とする。

研修プログラムの特徴

日頃よく遭遇するcommon diseaseから高度な診療レベルが要求される疾患まで経験でき、プライマリケアから専門的治療まで短期間で効率よく研修することが可能なプログラムとなっています。

必修科目以外の期間については各診療科より自由にローテート科を選択でき、2週ずつでのローテートも可能であるため、比較的自由度の高いプログラムとなっています。（院内の自由選択科では、1か月前までローテート科変更可能）

2年次の自由選択では、希望に応じて公立学校共済組合系列7病院（東北、関東、北陸、近畿、中国、四国、九州）にて研修を行うこともできます。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：6名（予定）
身分：非常勤職員
給与：想定年収：1年次研修医 約700万円
2年次研修医 約800～1,000万円
住居等：宿舎あり 賃貸の場合住居手当あり（上限25,000円）
通勤手当あり（条件あり）
保険：健康保険・厚生年金・雇用保険等各種保険完備
その他：学会等出席補助あり

交通案内



社会医療法人蘇西厚生会松波総合病院

病院の概要

開設時期	昭和8年
開設者	社会医療法人蘇西厚生会 理事長 松波 英寿
院長名	松波和寿
病床数	501床
病科	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液・腫瘍内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺外科、肛門科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、リウマチ科、小児科、皮膚科、麻酔科、精神科、救急科、歯科口腔外科、移植外科、臨床検査科、移植外科、臨床検査科
医師数	184名
指導医師数	68名（臨床研修指導医講習会修了者数）
外来患者数	約580名／日（まつなみ健康増進クリニックと合計して約900名／日）
入院患者数	430名／日
所在地	羽島郡笠松町田代185-1
URL	http://www.matsunami-hsp.or.jp/recruit/doctor/



病院の特徴

愛知県と川を挟んだ岐阜県南部に位置して、名古屋駅までは最寄り駅から30分の距離です。病床数は501床で、地域の急性期医療から在宅医療までを担っており。病院としては、北館、南館、東館、西館（令和7年6月OPEN）から成り立ち、北館の機能として一般病床に加えて手術室8室（内1室はハイブリット手術室）、ICU8床、ECU20床などの高度急性期医療の施設やダヴィンチ、ANSWERをはじめとする最新鋭の医療機器、ヘリポートを整備しています。通常の高度な医療のみならず、救急医療や災害医療にも迅速に対応出来る体制を確立しています。2025年4月に救命救急センターの指定を受けました。南館は、比較的長期の医療を担う一般病棟、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、障害者病棟を有し、急性期以外の医療、外来機能としては、人工透析センター、ペインクリニック、訪問診療を有しております。

院長メッセージ



松波和寿

当院は岐阜市南部に近接し、病床数501床、診療科32科を有する地域中核病院です。令和7年4月に救命救急センターの認可を受け、令和7年6月に西館がオープンし、最新の放射線治療機器ラディザクトの導入、新医局、健診センターが移転しました。

安全で質の高い医療を提供する事をモットーとし、種々の急性期医療を重点的に担っており、年間手術約4,600件、救急車搬送患者約4,300件の実績があります。各分野の専門医が多く、新専門医制度では、内科・外科・産婦人科・麻酔科・総合診療においては基幹施設となり、2026年度は新たに救急科・形成外科において基幹施設となる予定です。

Subspecialty学会（日本消化器病学会、日本循環器学会、日本呼吸器学会等）、他領域横断的関連学会（日本超音波医学会、集中治療学会等）等の約40医学会の専門医研修施設認定病院となっております。平成16年より厚生省（当時）の卒後臨床研修病院であり、これまで全国から多くの研修医を受け入れてきました。また、平成20年3月から卒後臨床研修評価機構（JCEP）の基準を満たした研修病院として認定されています。2018年2月に最高ランクのエクセレント賞を岐阜県内初受賞。2023年の2期連続でエクセレント賞を受賞しました。初期研修医にとってはプライマリ・ケアから専門医療まで十分満足のいく研修体制をとっている病院であると自負しております。是非当院で卒後臨床研修を受けてみてください。

指導医メッセージ

初期研修は、その医師の生涯にわたる診療姿勢を決定する上で重要です。患者とその家族に全人的な対応ができる医師となるために、自分は何をしたらいいのかを、毎日の多忙な日々の中から見つけていただきたい。医療にはさまざまな問題が山積みされています。最先端医療も大切ですし、末期医療、療養医療も大切です。医学部在籍中には、十分経験することができなかつ多くの切実な問題に直接ぶつかり、現在の医療に対する問題点を十分考えていただきたい。「走りながら考える」、まさしくこの言葉通りに臨床研修を意義あるものにしていただきたいと願っています。

当院の臨床研修の特徴は、501床の急性期病院で常勤医184名、うち指導医68名の構成でありながら、研修医定員が各学年12名と少なく屋根瓦方式やマンツーマンによる研修が行えることです。地域完結型医療をめざし、地域連携医と一緒に地域診療ネットワークをつくり、連携バスのもと、急性期医療、介護医療を行っていますが、当院での初期研修システムもこのなかに組み込まれ、現実に即したプライマリケアができる医師の養成をめざしています。

研修医メッセージ

当院での研修の魅力の一つとして、充実かつ自由度の高い研修プログラムがあります。1年次ではさまざまな研修が出来ます。2年次は比較的自由な選択が出来るため、後期研修を見据えたスケジュールを立てることも可能です。少人数の研修医であるため手厚い指導を受けられます。さらに、医局と研修医室が一体であり、休憩時間にも先生方と気軽に話し合うことも出来ます。

また、毎週火曜～金曜の早朝に研修医のための朝カンファレンスがあるのも当院の魅力です。症例プレゼンや論文発表を研修医が行い、先生方からアドバイスをいただけます。

私は当院で研修して1年経ちますが、素晴らしい研修を受けていると実感しています。そんな研修を受けてみたいと感じたあなた、気軽に病院見学にお越し下さい！

研修スケジュール

1年次	1クール	2クール	3クール	4クール	5クール	6クール	7クール	8クール	9クール	10クール	11クール	12クール	13クール
選択必修	内科												外科
2年次	産婦	小児	地域	精神	救急								自由選択

※1クール4週間

※3クール目から、内科、小児科、地域ローテート時に一般外来件研修実施

研修協力病院・施設

岐阜南病院（精神科）

岐阜病院（精神科）

岐阜県立希望が丘こども医療福祉センター（整形外科）

社会医療法人白鳳会 鶩見病院（地域医療）

まつなみ健康増進クリニック（地域医療）

郡上市民病院（地域医療）

医療法人かがやき 総合在宅医療クリニック（地域医療）

海津市立美濃病院（地域医療）

美濃市立美濃病院（地域医療）

郡北西部地域医療センター 国保白鳥病院（地域医療）

県北西部地域医療センター 国保和良診療所（地域医療）

県北西部地域医療センター 国保高鷲診療所（地域医療）

県北西部地域医療センター 白川村国民健康保険白川診療所（地域医療）

県北西部地域医療センター 高山市国保庄川診療所（地域医療）

後期研修・専門研修（予定）

松波総合病院では、7領域（内科・外科・麻酔科・産婦人科・総合診療・救急科・形成外科）の専門研修プログラムで基幹施設となっており、初期研修に引き続き専門研修可能。その他の診療科については15領域の他基幹施設プログラムの連携施設となっております。

専門領域	内科	外科	脳神経外科	形成外科	麻酔科	病理	放射線科	小児科	産婦人科
指導医数	32	10	3	1	9	2	4	3	5
基幹施設	●	●	●	●	●	●	●	●	●
連携施設	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

専門領域	救急科	耳鼻咽喉科	総合診療科	眼科	精神科	泌尿器科	整形外科	リハビリ	皮膚科
4	1	3	1	1	2	4	1	1	1
●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

【連携プログラム一覧】※他基幹施設基幹プログラムで当院が連携施設となっているプログラム

専門領域	基幹施設
内科	岐阜大学病院、岐阜市民病院、岐阜県総合医療センター、中部国際医療センター、高山赤十字病院、飯塚病院
外科	岐阜大学病院
脳神経外科	岐阜大学病院
形成外科	信州大学病院
整形外科	岐阜大学病院、岐阜県総合医療センター

専門領域	基幹施設
産婦人科	岐阜大学病院
小児科	岐阜大学病院
眼科	岐阜大学病院
耳鼻咽喉科	名古屋大学病院
病理	岐阜大学病院

専門領域	基幹施設
泌尿器科	岐阜大学病院
放射線科	福井大学病院
救急科	岐阜大学病院
麻酔科	岐阜大学病院、中部国際医療センター、中濃厚生病院
総合診療科	岐阜大学病院、国保白鳥病院

研修プログラムの目標

医師が、医師としての人格を涵養し、常に患者を思いやる気持ちを持ち、将来専門とする分野に関わらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応出来るよう、基本的な診療能力（態度・技術・知識）を身につけることを目標としています。

研修プログラムの特徴

プライマリ・ケアを最重点にローテート方式により、各科にわたる基礎的な診療についての知識と、技術応用力及び医師（職業人）としての態度を身に付けます。

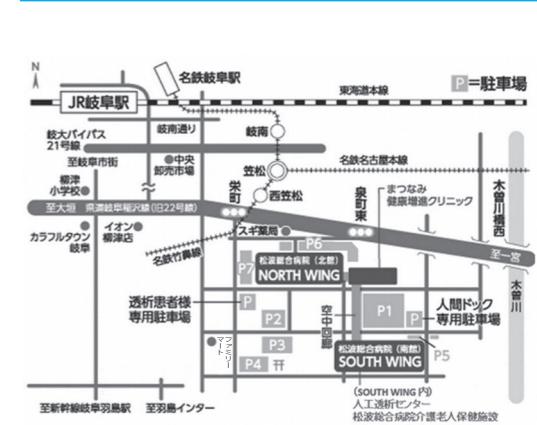
救急総合診療科を主体とした救急医療や、総合内科を中心としたカルテの書き方、身体診察の基本プライマリ・ケアを学べる環境であり、外科ではダヴィンチ、ANSWERなどの手術支援ロボットを使用した最新技術を学べます。

選択で8クール診療科を選べて、1人1人に合わせた研修が可能です。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得見込みの方、医師免許取得済で初期臨床研修を開始していない方
募集人員：12名（予定）
身分：常勤
給与：（1年次）551,666円／月・（2年次）595,000円／月、（賞与1年次810,000円、2年次1,080,000円）日勤手当（土日祝日）・夜勤手当・時間外手当
住居等：単身用あり、住宅手当あり
保険等：政府管掌健康保険、厚生年金、労災保険
医師賠償責任保険：病院にて加入、任意で個人加入

交通案内



名鉄名古屋本線 笠松駅から徒歩約15分、車で約5分

大垣市民病院

病院の概要

開設時期：昭和34年10月1日

開設者：大垣市長 石田 仁

院長名：豊田 秀徳

許可病床数：817床

標榜科：内科、神経内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、精神科、小児科、第2小児科（小児循環器、新生児科）、外科、消化器外科、小児外科、乳腺外科、脳神経外科、心臓血管外科（胸部外科）、呼吸器外科（胸部外科）、形成外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、頭頸部・耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、放射線診療科、放射線治療科、リハビリテーション科、麻酔科、病理診断科

医師数：216名

指導医師数：75名

外来患者数：1,817名／日

入院患者数：561名／日

所在地：大垣市南頬町4-86

URL：<http://www.ogaki-mh.jp/>



病院の特徴

大垣市民病院は岐阜県下最大の急性期病院で、大垣市を中心とした西濃医療圏約35万人の基幹病院として、日々発展し続けております。当院は医師臨床研修施設、地域がん診療連携拠点病院、小児科救急医療拠点病院、岐阜県地域周産期母子医療センター認定施設等に指定されております。

2012年度には、最先端機器を備えた救命救急センターが完成し、全ての救急患者を受け入れる体制を整えております。

院長メッセージ



豊田秀徳

岐阜県西濃地方の大垣市に位置する中核病院です。「大垣」という名は知らない人も多いかもしれません。が、医療関係者にとって「大垣市民病院」を知らない人がいたとしたらモグリです。大垣市民病院は岐阜県だけでなく、全国の医療関係者が知っている病院です。「Gifu prefecture」「Ogaki city」は知らなくても「Ogaki Municipal Hospital」を知っている海外の臨床家・研究者も少なくありません。それはさておき、研修医の先生への魅力をあげれば代表的な症例から稀な症例まで多岐にわたる症例を短期間で経験できること、しっかりした教育体制が整っていること、高度な医療を実践していること、給料がいいことなどでしょうか？「研修は大垣市民病院で行った」はひとつのステータスです。医者は最初の3年間の過ごし方がその後を決めると言われます。自分のキャリアを作るのに適した当院の初期研修への応募を期待しています。

指導医メッセージ

当院は全ての科において豊富な症例が経験できます。また経験できる疾患群は common disease から稀なものまで多岐にわたります。各科の持つ診療技術も高度であり、プライマリケアのみでなく、先進的な医療も経験できます。初期研修にとって特に重要な分野である救急においては、一次から三次までの救急医療を経験でき救急車搬送台数も有数であることから、高度かつ実際的な研修が可能です。また、多い症例数が消化不良にならないように、研修医全体の教育単位を用意し、さらに各科でのカンファレンスも充実しています。頑張れば本物の実力がつく病院と自負しています。

研修医メッセージ

1年目

大垣市民病院での研修開始から2ヶ月が経ち、勤務と当直で日々が充実しています。当直業務では、自分の未熟さを痛感することもありますが、頼れる同期や先輩、上級医、コメディカルの皆さんの支えで、多くの症例から貴重な学びを得ています。当院は忙しいイメージがあるかもしれません、それは忙殺ではなく豊富な症例と親身な指導による知識と経験を獲得する時間です。当院は医師の土台を固めるには最適な環境です。ぜひ一度見学に来て、雰囲気を体験してください！

2年目

大垣市民病院の初期研修は、豊富な症例数を誇り、多彩な手技を積極的に経験できるのが大きな魅力です。経験豊富な指導医による丁寧な指導、充実した救急医療体制の下で、実践的スキルを確実に習得し医師として大きく成長出来ます。病院至近の便利な寮や魅力的な待遇に加え学会参加などの学術活動も手厚くサポート。研修医同士は明るく活気ある雰囲気の中で切磋琢磨研修に打ち込めます。ぜひ一度見学に来てみて、当院の雰囲気を実感してください。

研修スケジュール

①必修科目はもれなく研修でき、全診療科研修を必修とするスーパー・ローテーション方式研修で、豊富な症例数と充実した指導体制の下で医師としての基礎力形成に適している。

②いわゆる「マイナー科」も充実している為、自分の興味に沿った選択科目を研修でき、専門科の決定や広汎な知識の獲得に有用である。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次							内科系・外科系・小児科系・産婦人科・救急・麻酔科					
2年次							地域医療・産婦人科・精神科・救急・麻酔科・選択科目					

研修協力病院・施設

【精神科】大垣病院、西濃病院、養南病院

【地域医療】関ヶ原診療所、揖斐郡北西部地域医療センター、飛騨市民病院、海津市医師会病院、谷汲中央診療所

【保健・医療行政】西美濃さくら苑、くすのき苑

後期研修・専門研修（予定）

専門医取得について外科・内科・麻酔科・整形外科は基幹病院指定を受け、その他の科も大学等の連携病院となっています。3年目以降も当院でシームレスな高度知識と技術の修得が可能です。

研修プログラムの目標

臨床研修の目的は、医師としての基本姿勢、倫理、使命感の養成及び、専門医に至る道のりとしてのプライマリケアを中心とした基礎知識と基礎技術の修得、さらに患者・家族から信頼される医師を目指すことにあります。また、医師がより良い医療行為を行うために必要な協力体制がいかに構築されているかを知り、看護師、検査技師、薬剤師などと協調性をもって仕事ができるようになることも重要である。

研修プログラムの特徴

豊富な症例数と高度な医療技術が備わった病院で、common disease も稀な疾患も実体験でき、診断から治療の完結までをフォローすることができます。救急は一次から三次までをカバーし、救急車の搬送数も全国屈指であるばかりでなく、濃厚な教育で救急的な対処法を学ぶ機会があるため、救急対応能力が飛躍的に身につきます。また、各診療科の検討会、研究会や医学会にも参加するほか、臨床病理検討会（CPC）では症例の提示・発表を行います。1年次には、研修医基本講座として、各診療科の救急におけるプライマリ・ケアの実習および講義を行い、CT・US 検査実習、シミュレーション研修などを行います。救急センターで経験した特徴的な症例を、毎月開催される救急症例検討会で発表し、知識・対応方法の共有化を図ります。実践力をつけるには最適な病院だと思いますので、皆さんのご応募をお待ちしております。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者

募集人員：医科18人（予定）

身分：任期付職員

給与：1年目：約8,374,000円

2年目：約10,234,000円

→令和6年度実績であり、変動する場合があります

居住地：医師住宅有り、賃貸住宅居住者には家賃補助あり

保険：岐阜県市町村職員共済組合健康保険、共済年金保険

その他：学会等における発表者の参加費・旅費病院負担

交通案内



岐阜県厚生農業協同組合連合会岐阜・西濃医療センター西濃厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和27年2月1日
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名：西脇 伸二
病床数：400床（一般急性期：293床、回復期：82床、緩和ケア：25床）

標榜科：内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科・血液内科・糖尿病・内分泌内科・リウマチ科・脳神経内科・緩和ケア内科・小児科・外科・緩和ケア外科・乳腺外科・肛門外科・整形外科・脳神経外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・頭頸部外科・婦人科・麻酔科・歯科・小児歯科・歯科口腔外科・放射線科・心療内科・精神科・リハビリテーション科

医師数：54名
指導医師数：31名
外来患者数：530.2人／日※
入院患者数：258.0人／日※
所在地：揖斐郡大野町下磯293番地1
URL：<http://www.seino.gfkosei.or.jp/>
※令和6年度西濃厚生病院実績



病院の特徴

揖斐北西部に位置する総合病院となります。診療圏域は、西濃医療圏に属し、揖斐郡3町を中心として、近隣の神戸町、本巣市等を含めた広い地域を医療圏としています。

急性期から慢性期まで幅広く医療を提供し、関連施設として、内視鏡センター、人工透析センター、健診センター、訪問看護ステーション、居宅介護支援事業所を有し、地域完結型の医療を実現しています。

院長メッセージ



西濃厚生病院は2023年10月に岐阜・西濃医療圏北部の基幹病院としてオープンしました。東海環状自動車道、大野

神戸インター直東に位置し、岐阜市や大垣市からのアクセスの良い400床の総合病院です。急性期病床293床の他、回復期リハビリ病床、地域包括病床、緩和ケア病床を有し急性期のみならず回復期や終末期の医療も行っています。災害医療も含め救急医療に力を入れ様々な急性期疾患を経験することができます。がん診療においても最新のAIを用いた内視鏡診断装置をはじめ、デジタルPET-CTや放射線治療装置、手術支援ロボット“ダ・ヴィンチ”も整備し、がんの早期発見・診断から低侵襲で高度な治療や緩和医療まで包括的に行うことができます。病棟でもデジタル医療機器を積極的に導入し、スマートベッドやスマートフォンと電子カルテのリンクなどを行うことにより効率的に診療情報を共有できるシステムを構築しています。

一方、地域の開業医や山間部の診療所との連携が強く、医師派遣や人事交流も行いながら地域完結型の医療を行っています。研修中には山間部の診療所での診療も体験していただき、地域医療の大切さ面白さを実感できると思います。診療科や職種間の垣根が低く家庭的な雰囲気の中で、初期研修として人情味のある医師を育成していきたいと考えています。病院の理念である“心のこもった医療の提供”を体験しながら、心のこもった研修指導を行って参ります。様々な研修経験を通じて将来自分の専攻する診療科を考える絶好の機会となります。ぜひ病院見学にも足を運んでいただき、職場の雰囲気などを見に来てください。

指導医メッセージ

当院の臨床研修は、個々の能力や希望に応じて柔軟な研修カリキュラムを組んでいます。温かい雰囲気で多職種のスタッフと一緒に考えながら、患者に寄り添う医療の実践をモットーにしています。皆さんが2年の研修を終え、立派な医師として活躍できるようになることを全スタッフでサポートします。また、医学知識・技術だけでなく、社会人としての教養も合わせて学んでいただきたいと思っています。

研修医コメント

西濃厚生病院では、医師、看護師、そのほかの様々な職種の方々に暖かい雰囲気で研修させてもらっています。診療科の垣根が低いため、ローテーション中の診療科に縛られることなく他の診療科の検査や処置を経験する事ができ、有意義な研修期間を過ごせます。当院に興味を持たれた方は、是非気軽に病院見学にお越しください。

当院での研修は、自分のペースで研修目標を立て、指導医の先生と相談しながらスケジュールを組むことができます。新しい病院施設である事から、放射線治療装置、デジタルPET-CT、手術支援ロボットdaVinciを用いた手術症例もあり、以前よりもさらに多岐にわたる研修ができる病院に進化したと思います。また、緩和ケア病棟もあり腰を据えた診察技術を身に着けたり、患者様と真摯に向き合う態度を身につけたりすることもできます。我々とともに充実した研修医生活を送ってみませんか。

研修再開を希望される皆さんへ

当院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

研修スケジュール

西濃厚生病院 初期臨床研修 プログラム	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	1年次	内科 [26週] うち一般外来研修 [2週]					救急 [12週]					外科 [5週] うち一般外来研修 [1週]
	2年次	精神科(4週)	地域医療(4週)	必須分野または選択科								

臨床研修協力病院・協力施設

○協力病院

岐阜大学医学部附属病院
社会医療法人綠峰会 養南病院
JA岐阜厚生連 中濃厚生病院
岐阜県総合医療センター

○協力型施設

岩砂病院・岩砂マタニティー
揖斐郡北西部地域医療センター
岐阜ハートセンター
JA岐阜厚生連 飛騨医療センター 久美愛厚生病院

JA岐阜厚生連 東濃中部医療センター 東濃厚生病院
JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 岐北厚生病院
JA岐阜厚生連 岐阜・西濃医療センター 西濃厚生病院

研修プログラムの目標

医師としての人格をかん養し、将来専門とする分野にかかわらず、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる負傷又は疾病に適切に対応できるよう、基本的な診療能力を身に付けること。

研修プログラムの特徴

当院の最大の特徴は、各診療科を超えて医師同士の横の連携が大変密に行えるところにあります。この特徴を活かし、少人数の研修医を各科の研修中であっても他科の貴重な症例を見学ではなく体験させることにより、小回りのきく、きめ細かな研修が可能なプログラム構成となっています。また、選択期間を長く設定することにより、将来の診療科の決定に向けた自分に合ったプログラムを組むことが可能であり、一人の医師として専門医に走りすぎることなく、病院全体のスタッフとしての役割的重要性・協調性を体験し、総合的な病態を把握する習慣を身に着けることを主眼に置いています。

募集要項

応募資格：令和9年3月医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：5名（予定）
身分：常勤嘱託医師
給与：年収700～750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む。）
住居：住居手当支給
保険：健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険

交通案内



連絡先

連絡先：西濃厚生病院 企画総務課
TEL：0585-36-1110
FAX：0585-36-3100
EMAIL：seinohp@gfkosei.or.jp

岐阜県厚生農業協同組合連合会中濃厚生病院

病院の概要

開設時期	昭和23年1月10日
開設者	岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名	勝村 直樹
病床数	495床
科	内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、心療内科、血液内科、腎臓内科、小児科、外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、内分泌内科、肝臓内科、消化器内視鏡内科、消化器外科、血管外科、肝臓・胆囊・脾臓外科、乳腺内分泌外科、神経小児科、呼吸器外科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科
医師数	129名
指導医師数	50名
外来患者数	893.5名/日
入院患者数	353.0名/日
所在地	関市若草通5-1
URL	http://www.chuno.gfkosei.or.jp/



病院の特徴

鶴飼で知られる清流長良川中流域の関市に立地し、長良川流域の美濃市・郡上市を含む人口約15万人の地域をカバーする中濃医療圏の基幹となる医療機関です。救命救急センターを併設する急性期病院であり、一般診療から3次救急医療まで高度で幅広い医療を地域に提供しています。

院長メッセージ



勝村直樹

中濃厚生病院は中濃地域の中でも、関市・美濃市・郡上市といった長良川上流～中流域を中心とした地域の中核病院であり、地域の中で医療を完結できるよう整備を進めております。三次救急医療施設、へき地医療拠点病院、第二種感染症指定医療機関、地域災害拠点病院、地域かん診療連携拠点病院、がんゲノム医療連携拠点病院等の指定も受けしており、幅広い医療を地域に密着して行っています。

初期臨床研修・専門医研修とともに、Generalistを目指す人も、Specialistを目指す人も、自分のキャリア形成をすすめいく上でのエネルギーとなるのは、「患者さんやスタッフから信頼され感謝されること」「患者さんに感動を与え、患者さんから感動を頂くこと」ではないでしょうか。そのためには、日々研鑽し、自己を成長させ続けること、成長を実感できることが必要であり、それが何年たっても医師という仕事に興味を持ち続けることができるにつながると思います。

当院での研修でたくさんの「感動」を経験し、生涯にわたっての長い医師生活を充実させるためのCoreになる部分を充実させて欲しいと思います。是非、我々と共に中濃厚生病院で成長していきましょう。

指導医メッセージ

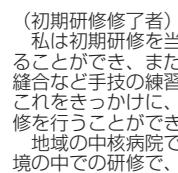


白木亮

当院の指導体制は日当直を含めて指導医と上級研修医との「屋根瓦方式」で行っています。当院の研修では、まず、必修科目である研修を通して臨床医として必要な「基礎診療能力」と「医師と患者さんの良好な関係を構築する力」を、豊富な症例を経験しながら身に着けて行きます。患者さんに共感する力を鍛えるとともに、患者さんとの感動のやりとりを体験してもらいたいと思います。また、2年目には自身の将来進みたい方向を見据えた上で、多彩な診療科の中から選択した診療科での研修を通してモチベーションを高めながら、その後の専門研修へシームレスに移行できるよう基礎固めを行います。なお、当院ではメンター制度を導入し、先輩医師が診療科に関わらず研修全般に渡っての相談・サポート役となり、キャリア形成を始め生活上の様々な悩みや相談を受け、アドバイスをおこないます。

初期研修修了後、また、専門研修修了後のいずれにも、当院は皆さんが望む方向で成長を続けられるよう多様なキャリア形成の支援を行います。

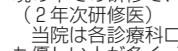
研修医メッセージ



(初期研修修了者)

私は初期研修を当院で研修し、その後、当院の内科専門研修へと進みました。初期研修では当直での救急対応により3次救急から軽傷まで様々な症例を経験することができ、また、各診療科では診察から手技まで幅広く指導していただきました。また、メティカルトレーニングセンターが整備されており、救急が必要な縫合など手技の練習を行う環境が整っていましたし、内視鏡検査などに向けトレーニングセンターで練習した上で、内視鏡検査を実践する機会もいただきました。これをきっかけに、専門研修も慣れ親しんだ当院を選択して、多様な疾患と手技も幅広くある消化器内科に進み、上級医からの熱心な指導環境の下、充実した研修を行うことができました。

地域の中核病院でもあり患者さんとの関わりの中で多くを学び、初期・後期を通じ豊富な経験ができたこと、また、患者さんもスタッフも優しく働きやすい環境の中での研修で、かけがえのない期間となったことに感謝しています。ぜひ、当院へ見学にお越しください。お待ちしています。



(2年次研修医)

当院は各診療科ローテーションや日当直において、一般診療から3次救急医療まで幅広い症例を経験することができます。また、各科の先生方・スタッフの方々も優しい人が多く、適宜手厚い指導を受けることもでき、とても働きやすい環境です。また、イベントが多いのもスタッフ同士の円満な関係につながっています。

研修医同士の雰囲気も良く、互いに切磋琢磨しながら充実した研修生活を送ることができます。日本の真ん中に位置した岐阜県の中濃地区の地域に根ざした病院で地域医療にも貢献できます。近年は県外からの研修医も増加しております。ぜひ一度見学にお越しください。

(1年次研修医)

中濃厚生病院は中濃地区における3次救急指定病院ですが、1次から3次まで幅広い症例を経験することができる魅力です。研修や日当直では、問診から必要な検査・治療の方針まで、自分自身が主体となって考える機会が多く、実践的な学びを得ることができます。なお、不安な時は、同期や2年次の先生、上級医の先生方にいつでも気軽に相談できるため、安心して研修を行うことができます。ぜひ一度、見学にお越しください！

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。当院の募集定員に空席がある場合に限りますが、研修再開を希望される方は、お問い合わせください。

研修スケジュール

当院の研修スケジュールは、1年目に内科24週、救命救急12週（麻酔科4週を含む）、小児科4週、外科4週、産婦人科4週を、2年目に地域医療4週、精神科4週を研修します。残り期間は研修医の希望に沿って自由に研修先を選択することができます。

コース別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次	内科(24週)・救急(8週)・麻酔科(4週)・外科(4週)・小児科(4週)・産婦人科(4週)・オリエンテーション(2週)・調整週(2週)											
2年次	地域医療(4週)・精神科(4週)											選択診療科(44週)

研修協力病院・施設

（協力型病院）
医療法人春陽会慈恵中央病院

（協力施設）
岐阜県関保健所
郡上市民病院
関市国民健康保険津保川診療所
県北西部地域医療センター国保高鷲診療所
岐阜ハートセンター

岐阜市立美濃病院
関市国民健康保険洞戸診療所
県北西部地域医療センター国保和良診療所
高山市国保庄川診療所
岐阜勤労者医療協会みどり病院

美濃市立美濃病院
関市国民健康保険洞戸診療所
県北西部地域医療センター国保和良診療所
県北西部地域医療センター国保白川診療所
独立行政法人 可児とうのう病院

後期研修・専門研修

○内科（定員5名）……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜市民病院・関中央病院・美濃市立美濃病院・郡上市民病院・岐阜県立下呂温泉病院・下呂市立金山病院・久美愛厚生病院・東濃厚生病院・西濃厚生病院・西濃厚生病院・藤田医科大学ばんたね病院を連携施設、県北西部地域医療センター（国保白鳥病院・国保和良診療所）・関市国民健康保険津保川診療所を特別連携施設としています。
○麻酔科（定員2名）……中濃厚生病院を基幹病院として、岐阜大学医学部附属病院・岐阜県総合医療センター・岐阜大雄会病院・松波総合病院を連携施設としています。
○その他16領域のほとんどは連携施設として、各基幹施設の専門研修プログラムに参加しています。

研修プログラムの目標

医師として必要な「基本的な価値観」、「到達すべき資質・能力」、「基本的診療業務」を身に着けます。

忙しくても誇りを持って楽しく仕事をすることができ、患者さんや家族との良好な関係の構築とともに患者さんのもとへ何度も厭わずに訪れ、患者さんから学ぶ姿勢を持ち、自己の成長に繋げることを目標とします。

研修プログラムの特徴

当院の研修プログラムでは、清流長良川を若鮎が遡上していくながら成長していく姿をイメージし、初期研修医がよい環境の中で、日々成長し誇りを持って楽しく仕事ができる、一人前となる医師育成を目指しています。

このため、研修医は、患者さんの初診・入院から退院・通院まで一貫して主担当医として関わり、患者さんの問題解決に至るまで責任を持って対応しながら、問題解決能力を身に着けてていきます。また、研修では患者さんのベッドサイドに足繁く通うこと第一として、EBM（Evidence-Based Medicine）だけではなく、NBM（Narrative-based Medicine）も大事にします。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：10名（予定）

身分：嘱託常勤職員

給与：1年次 約503,000円（手当込）／月 賞与 960,000円

2年次 約587,500円（手当込）／月 賞与1,250,000円

年収 1年次 約7,000,000円（手当込）（令和6年度平均額）

2年次 約8,300,000円（手当込）（令和6年度平均額）

住居：住居手当として最大27,000円を補助

保険：各種保険制度有り

交通案内



車でお越しの場合
東海北陸自動車道 関ICより約10分
東海北陸自動車道 美濃ICより約10分
公共交通機関をご利用の場合
長良川鉄道 関市役所前駅下車 徒歩約15分
岐阜バス 岐阜関線 関シティーラミナル下車 徒歩約20分

社会医療法人厚生会中部国際医療センター

病院の概要

開設時期：昭和28年

開設者：社会医療法人厚生会

院長名：杉山 温人

病床数：502床

標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、内分泌代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形成外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和ケア科、病理診断科、リハビリテーション科、救急科、総合診療科、精神科、腫瘍精神科、歯科口腔外科

医師数：161名

指導医師数：70名

外来患者数：1,080名／日

入院患者数：465名／日

所在地：美濃加茂市健康のまち一丁目1番地

URL：<https://cjmhc-hp.jp/>



病院の特徴

「地域の、日本の、世界の医療拠点へ」

「全ては病める人のために」という理念のもと、2022年1月に「中部国際医療センター」として新たなスタートを切りました。「中部国際医療センター」という名前には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められています。のために、新しい医療機器や質の高いスタッフ、充実した設備を配した医療体制を整え、満足度の高い医療を提供します。地域の健康を守る新たな拠点「健康のまち一丁目1番地」で、健康診断から高度な治療、病後のヘルスサポートまで「健康」を幅広くサポートすることで、地域の皆さんを支えていきます。

院長メッセージ



杉山温人

中部国際医療センターでは、地域医療に密着した現場で小児から高齢者に至るさまざまな年齢層の患者さんを診療し、さらに高度医療機器を駆使した最新の医療に触れるによって幅広い分野・領域の研修を受けることができます。「鉄は熱いうちに打て」という格言がありますが、医師にとって最初の2年間の初期研修とそれに続く後期研修は、その後の医師人生を左右する重要な礎となります。当院では、医師としての良識と品格を身につけ、安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を取得するとともに、患者さんの立場に立った全人的医療を行える医師の養成を目指します。将来の日本の医療を担う責任感とリーダーシップのある医師になっていただけるよう、私たちは病院を挙げて全力でサポートいたします。当院で臨床研修を行っていただき、一緒に働くことを心よりお待ちしております。美濃加茂の地から日本全国へ、そして世界へと大きく羽ばたいて下さい。

指導医メッセージ

中部国際医療センターは、2022年1月に旧木沢記念病院より移転して誕生した急性期病院です。岐阜県中濃地域の中核病院として機能し、多数の救急搬送の受け入れ、またヘリポートも併設し、遠隔の医療機関から重症症例の受け入れも積極的に行っております。旧木沢記念病院より引き継いだ充実した指導体制・指導管理体制、さらに陽子線治療装置をはじめとした豊富な医療資源を持ちます。勉強会・当直カンファレンスを定期的に開催し、皆さんの総合力向上および重要症例の共有を図っています。またネイティブによる英会話教室も毎週開催しており、医師として必須である語学力向上に貢献出来ると思います。ぜひ、医師としての第一歩を中部国際医療センターで踏み出し、自分の目指すキャリアを実現させてください。

研修医メッセージ

中部国際医療センターの研修は自主性が高く、かつ行った手技や検査に上級医からのフィードバックが得られる点が特徴です。当院以外にも自主性が高くやる気があれば多くの手技を経験できる病院はあると思いますが、当院での研修では更に自分が行ったことに対する評価や改善すべきところを学ぶことができるため、効率よく知識や技術を吸収できます。また日直、当直業務が週に1回程度ありますが、研修医1名と上級医1名がセットになって行っており、研修医1人で患者さんを帰宅させることはめったにありません。研修医が主となって患者さんを診ますが、状態の評価や今後の対応をどうするのかは上級医と一緒に考え進めていくため、安心して業務にあたることができますし、1人で診るよりはるかに勉強になります。是非一度見学に来ていただき、当院のよさを実感していただければと思います。

研修スケジュール

	クール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
1年次														

救急当直研修は4回／月、1年次11ヶ月、2年次12ヶ月、合計23ヶ月実施する。

研修協力病院・施設

特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル（精神科） 国立病院機構 長良医療センター（呼吸器内科） 社会医療法人白鳳会 鶯見病院（地域医療）
社会医療法人厚生会 多治見市民病院（腎臓・リウマチ膠原病内科） 郡上市民病院（地域医療） 津保川診療所（地域医療）
飛騨市民病院（地域医療） 美濃市立美濃病院（地域医療） 岐阜大学医学部附属病院（第1内科・第3内科）

後期研修・専門研修（予定）

内科、救急科、総合診療科、麻酔科、皮膚科の専門医として、修得した基本的な医学知識・技術を卓越した先輩医師たちと更にスキルアップすることができます。専門性を高めながら、地域医療にも貢献できる医師を育成するため、連携施設との協力体制を大切にし、充実した研修環境を提供しています。

【専門研修プログラム連携施設】

	岐阜大学医学部附属病院	愛知医科大学病院	大名古屋市立大学附属病院	富山大学附属病院	福島県立医科大学	多治見市民病院	岐阜県立医療センター	岐阜市民病院	松波総合病院	中濃厚生病院	長良医療センター	可児とうのう病院	郡上市民病院	名医療セントラル病院	日赤愛媛第一病院	心血管病院研究所	津保川診療所	東白川村診療所	梶の木内科
内科	○	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
皮膚科	○		○				○												
麻酔科	○					○	○	○	○										
救急科	○			○	○	○												○	○
総合診療科																			

研修プログラムの目標

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識して日常診療で遭遇する疾病に適切に対応できるよう、基本的・専門的診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

- 1). 医師としての良識と品格を身につける。
- 2). 安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を習得する。
- 3). 地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 4). 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- 5). 多職種とコミュニケーションを取り、チーム医療を推進。
- 6). 國際的に活躍できる医療人の養成を目指す。

研修プログラムの特徴

当院は、地域医療に密着した医療現場で、小児から高齢者にいたるさまざまな年齢層の日常的な診療から高度医療機器を利用した最新の医学診断にいたる幅広い分野の研修を行うため、総合診療能力を高めることができます。全科の支援体制が整備されているので、必要時には他科へのコンサルテーションが可能です。特に、2年目の研修は、診療科の選択自由度が高く、選択履修の範囲を広げるために、例えば、耳鼻科+眼科で1クールといった、2週間ずつマイナーな診療科の症例経験を重ねることができる「マイナーパック制度」を選択することができます。研修医ごとにさまざまなパターンのプログラムになり、従来以上に個別化された研修オーダーメイドのプログラムにすることができます。

募集要項

応募資格：2027年3月に医師免許を取得する見込みである者

募集人員：12名（予定）

身分：常勤臨床研修医師

給与：初期研修1年目 740万円／年（諸手当含む）

初期研修2年目 860万円／年（諸手当含む）

住居：オール電化1Kタイプマンション、インターネット、セキュリティ完備、当院より徒歩5分

保険：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

交通案内



連絡先

中部国際医療センター 臨床研修医募集係（担当：井村、中島）

電話番号：0574-66-1100

f a x : 0574-66-1661

E-mail: resident@cjmhc-hp.jp

岐阜県立多治見病院

病院の概要

開設時期	昭和14年9月8日
開設者	地方独立行政法人岐阜県立多治見病院
院長名	近藤 泰三
病床数	539床
標榜科	内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、リウマチ科、精神科、脳神経内科、呼吸器内科、小児科、新生児内科、緩和ケア内科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓外科、血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線治療科、放射線診断科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、救急科
医師数	177名（医科170名、歯科7名）
指導医師数	51名（臨床研修指導医講習会修了者）
外来患者数	1,091名/日
入院患者数	382名/日
所在地	多治見市前畠町5-161
URL	https://www.tajimi-hospital.jp/



病院の特徴

岐阜県立多治見病院は岐阜県東濃地域唯一の三次救急病院であり、内科・外科・マイナー科以外にも、精神科・緩和ケア内科・心臓血管外科など全科の揃った539床の総合病院です。2024年4月に新棟が開設し、東濃・可児地域における基幹病院として、高度急性期・急性期の医療機能を拡充します。

院長メッセージ



近藤泰三

当院の特長は、岐阜県東濃可児地域の扇の要に位置し、地域の中での基幹病院であることはもちろんですが、中津川市民病院を初め、各中核病院と真の病病連携、また、かかりつけ医院との病診連携が緊密におこなわれている病院ということです。つまり、住民の皆さんの「最後の砦」として、二次三次救急を初めとする様々な役割を担っています。その為に地域がん診療拠点病院、地域周産期母子医療センター、災害拠点病院であり、結核病棟、感染病棟、緩和病棟、精神科病棟も備え、幅広い診療を行っています。愛知県の病院、岐阜市内の病院とは一味違う持ち味を持っていると思います。医師及びメディカルスタッフは、東濃可児地域という広い地域の住民の期待に応えるように活躍しています。

(循環器内科) 研修医の先生は、多くの患者さんが集まる当院で症例を経験でき、また、上級医師の指導により、様々な手技を学ぶことができます。名古屋大学、名古屋市立大学との連携により、多くの医師が医局、様々な中核病院と活発な交流をしており、優秀な先輩が当院へ赴任され、また巣立っています。是非当院で研修をスタートしてみませんか。

指導医メッセージ

当院では指導医・上級医のみならずコメディカルも含めた病院全体で臨床研修をサポートしています。同時に、指導医と研修医の風通しを良くして、いろいろな意見を聞きつつ研修環境や制度を「カイゼン」しています。研修環境だけでなく、臨床教育プログラムも充実しており、研修早期にAHAのBLS、ACLS、JPTECを受講していただきます。また、グループワーク型の総合診療講座や、各科の部長講義などのバラエティーに富む教育プログラムも各月1回程度開催しています。

医療現場においても多様性や個性が見直されている時代ですが、いろいろな出身大学の仲間（研修医）がいることも当院の特徴の一つです。仲間と一緒に、将来のキャリアにむけて岐阜県立多治見病院で医師としてのスタートを切ってみませんか？

研修医メッセージ

県立多治見病院での研修について、研修医からの視点でメッセージを一言でまとめると、「やる気に応えてくれる病院」となるでしょうか。救急では1次から3次まで本当に様々な疾患を経験できます。完全電子カルテ化されているので、救急外来を受診した患者さんの経過がわかるのもbrush upにつながっています。また充実したローテートで、基本的な手技は確実に身につきます。各科の壁が低いので、指導医に申し出て循環器科研修中に胃カメラをしたり、内分泌科研修中に腹部エコーをしたりと、自分の担当患者さんを総合的に診られたことも、この病院を選んでよかったです。まずは実際に病院に見学に来て、雰囲気に触れてください！研修医からもっと詳しい話を聞けますし、研修を修了した憧れの先輩方もたくさんいるので、自分の数年後の姿が見えてくるはずです。「やる気」をもった後輩がたくさんできるとうれしく思います。

研修スケジュール

【1年次】・内科系20週以上、救急部門12週以上、外科系12週以上、小児科6週以上 ※産婦人科は希望により1年目に選択することも可能。その場合は内科系を1年目14週以上、2年目18週以上選択する。

【2年次】・内科系12週以上・産婦人科6週・精神科6週・地域医療を最低4週

- ・内科系は、消化器・循環器・呼吸器・腎臓・血液・糖尿病・内分泌・脳神経内科から選択できる。緩和ケア内科は、2年次の選択とする。
- ・外科系は、一般外科及び整形外科を最低4週選択し、他は形成外科・心臓外科・血管外科・脳神経外科・消化器外科・呼吸器外科・乳腺内分泌外科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・皮膚科・放射線診断科から選択できる。
- ・1年次に、整形外科を必ず選択する。また、脳神経外科・脳神経内科の内いずれかを必ず選択する。
- ・当直研修は、救命救急センターにて月平均6回
- ・一般外来研修は小児科・地域医療にて研修を行う。
- ・地域医療は、国保上矢作病院（4週）または与論徳洲会病院（8週）を2年次に選択する。
- ・岐阜県赤十字センターが実施する献血に同行し、献血を経験する。

パターン①	1年次	内科系 20週以上		小児科 6週	救急部門 12週	外科系 12週
	2年次	内科系 12週以上	地域医療 4週	産婦人科 6週	精神科 6週	自由選択 24週
パターン②	1年次	内科系 14週以上	産婦人科 6週	小児科 6週	救急部門 12週	外科系 12週
	2年次	内科系 18週以上	精神科 6週	地域医療 8週	自由選択 20週	

研修協力病院・施設

名古屋大学医学部付属病院
岐阜県赤十字血液センター

与論徳洲会病院

国民健康保険上矢作病院

後期研修・専門研修

当院では内科領域・外科領域及び精神科において、当院を基幹病院とする専門研修プログラムがあり、正規常勤医の待遇で採用します。その他の診療科についても、名古屋大学医学部附属病院、岐阜大学医学部附属病院等の連携施設ですので、初期研修終了後に、そのまま当院で専門研修に移行することができます。

また、学会・論文発表などを含め、各科専門医取得に向けての準備は当該科部長が責任を持って指導します。

研修プログラムの目標

岐阜県立多治見病院研修理念に則り、患者の気持ちを常に思いやる習慣を身につけるとともに、医師として必要なプライマリケアの基本的な診療能力や救急医療や外科系・内科系に渡る幅広い知識や技能を習得します。

研修プログラムの特徴

研修プログラムは自由度が高く、都度変更が可能です。研修医のための研修会・勉強会も豊富に開催しており、指導医・上級医によるしっかりした指導体制が整っています。AHAのBLS・ACLS、JPTECの講習は、受講料を病院が全額負担して受講することが出来ます。地域医療では鹿児島県与論島の離島研修、または岐阜県恵那市の山間部の病院研修を選択できます。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員：12名（予定）
身分：常勤臨床研修医師
給与：月額588,000円、賞与2回
1年次年収：約790万円、2年次年収：約890万円
居住地：研修医宿舎、職員食堂
保険：健康保険、厚生年金、雇用保険、国家・地方公務員災害補償
当院加入の医師賠償責任保険の適用あり
休暇：年次休暇（27日（ワークライフバランス休暇（7日）含）、特別休暇等）

交通案内



JR中央線多治見駅からバスで約10分

連絡先

電話番号：0572-22-5311 内線（2210）
fax：0572-25-1246
E-mail：info@tajimi-hospital.jp

多治見市民病院

病院の概要

開設時期：昭和43年4月1日

開設者：高木 貴行

院長名：今井 裕一

病床数：250床

病床榜科：内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ科、呼吸器内科、糖尿病・内分泌内科、血液内科、神経内科、肝臓内科、外科、乳腺外科、小児科、小児外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、形成外科、胸部外科、腎移植外科、婦人科、耳鼻咽喉科、眼科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、救急科、病理診断科

医師数：43名

指導医師数：19名

外来患者数：403名／日

入院患者数：202名／日

所在地：岐阜県多治見市前畠町3-43

URL：<http://kouseikai-tajimi-shimin.jp>



病院の特徴

当院は、岐阜県東濃地区の中核都市である多治見市（人口約11万人）にあります。救急医療から common disease などのプライマリケアまで幅広い症例を経験し、初期臨床研修の到達目標を十分達成できます。当院では、将来、どの専門領域を専攻しても、高齢者医療の実践ができるこことを到達目標に掲げています。また、恵那市国民健康保険岩村診療所あるいは揖斐郡北西部地域医療センターの地域医療を実習し、地域包括的な医療を経験できます。さらに、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センターと強い連携を結んでおり、それらの病院での高度で最先端な医療に触れることもできます。

院長メッセージ



今井裕一

当院は、1974年から市立多治見市民病院として地域医療を担ってきましたが、2010年4月から社会医療法人厚生会が指定管理を受けました。2012年8月1日から新病院での診療を行っています。私は、2017年4月に病院長として着任し、2019年度から基幹型研修病院としてマッチングに参加しています。到達目標は、「高齢者医療を実践できる」にしています。救急外来で問診・診察・検査を行い、指導医と相談しながら medical decision を修得します。そして入院患者の診断と治療を行い、患者・家族に説明を実践します。事務と連携して退院調整して無事退院するまでの一連の流れを経験します。これを積み重ねることで経験値が上昇します。4週間ごとローテーションのクリクラ型ではありません。毎週水曜日17時から内科総合カンファレンスを行っています。診療科の垣根もなくコンサルできます。さらに高齢者の呼吸器感染症・尿路感染症は、内科医全員が診療にあたり、総合的な臨床能力は確実にアップします。そのうえで、サブスペシャリティーの専門医・指導医から消化器内科・循環器内科・腎臓内科・リウマチ膠原病内科・呼吸器内科・神経内科の知識とノウハウを教わります。外科は、消化器外科・乳腺外科があります。消化器内科と消化器外科の連携もよく、合同カンファレンスで手術予定も迅速に決定されます。整形外科では、脱臼、骨折など多数の患者の診療にあたっています。医師としての第一歩を是非当院でスタートしましょう。皆さんのステップアップを病院全体でサポートします。

指導医メッセージ

当院の臨床研修の特徴は、単に4週ごとのクリクラスタイルではありません。①1年目は、内科で5ないし6か月、麻酔科2か月、救急部門で2か月研修し、医師としての基本を身につけます。しかも、それぞれの研修医に適したスケジュールを毎月調整します。②2年目には自由に選択できる期間が約10か月と長く、自分自身の将来の進路を見据えた選択期間としています。③2021年度からは、1学年4名枠ですが、個別の指導、形成評価を行ないつつスケジュールの調整を行ないます。④さらに当院にない専門診療科を選ぶ場合も、中部国際医療センター、愛知医科大学病院・岐阜大学医学部附属病院、県立多治見病院で研修することも可能です。

研修医メッセージ

1番の魅力は自由なプログラムです！厚生労働省が定める研修カリキュラムには準拠しつつも、ローテートする診療科の選択・順番・期間などの希望を相談して、自分に合った研修を行うことができます。各々の研修医の意向を汲み、一人一人に合った研修スケジュールを調整できる柔軟性は当院の特徴です。

内科研修では入院が必要な患者さんの主治医として、指導医の先生とも相談しながら治療にあたります。各診療科をローテートしていく事になりますが、診療科が変わったとしても、引き続き主治医として同じ患者さんを受け持つことが出来ます。これにより、一人の患者さんが入院してから退院するまでの一連のプロセスを、主体性を持って経験することが出来ます。

また、個人の成長をみながら順番に総合内科の外来を4～5か月担当します。

初診だけでなく再診の患者様も継続的に診察します。診察・検査・診断・治療を主体的に行うことによって2年間の研修で外来診療の基本的な知識や能力を身につけることができます。

最後に当直についてです。当直明けには朝カンファレンスが開かれ、当直帯に受診された患者さんについての症例検討を行います。今井病院長、研修医の仲間たちと振り返りを行い、様々な角度からのフィードバックを得ることができます。

是非一度見学に来て、実際に当院の雰囲気を感じてみてください。お待ちしています！

研修スケジュール

	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	26	28	30	32	34	36	38	40	42	44	46	48	50	52
1年目																										
	内科																									

●産婦人科、精神科を協力病院にて各4週間研修。

●地域研修は岐阜県恵那市の岩村診療所又は揖斐郡北西部地域医療センター。

●1年次後半より週1日一般外来開始。

●選択科目40週のうち24週は、当院以外の愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院、中部国際医療センター、岐阜県立多治見病院及びのぞみの丘ホスピタルでの選択科目から選択して研修することもできます。

●救急当直研修は、1ヶ月約4回で、2年間（24ヶ月）で約96回行います。

研修協力病院・施設

愛知医科大学病院

岐阜大学医学部附属病院

中部国際医療センター

のぞみの丘ホスピタル

地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院

恵那市国民健康保険岩村診療所

揖斐郡北西部地域医療センター

後期研修・専門研修

当院では、内科、外科、整形外科、小児科、麻酔科、皮膚科、眼科、病理診断科での専門研修が可能です。特に内科プログラムは2021年度から基幹型プログラムがスタートしています。さらに中部国際医療センター、岐阜市民病院、愛知医科大学病院、岐阜大学医学部附属病院などと連携しています。外科は岐阜大学・愛知医科大学プログラム、整形外科と小児科は愛知医科大学プログラムになります。さらに、内科系サブスペシャリティー専門医では、腎臓専門医、リウマチ専門医、内分泌代謝内科の教育病院ですが、その他の内科系サブスペシャリティー専門医も取得が可能です。

研修プログラムの目標

プログラム終了時点で、確実に高齢者医療を実践できるようになります。主担当医となり患者の入院から退院までの経過を一貫して診療にあたります。

研修プログラムの特徴

①救急対応能力、②十分な手技の習得、③患者・家族への説明、④当直明けのカンファレンス、⑤外来診療の実践、⑥選択診療科の調整可能、⑦長期間の自由選択

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者

募集人員：1年次4名（予定）

身分：常勤

給与：初期研修1年目 740万円（諸手当含む）

初期研修2年目 860万円（諸手当含む）

住居：等：家賃補助（住宅手当を支給（上限25,000円）※単身者のみ）

保険：等：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

連絡先

担当者：総務 青山

電話番号：0572-22-5211（内線3051）

FAX：0572-24-0705

E-mail：t-aoyama@kouseikai-tajimi-shimin.jp

交通案内



総合病院中津川市民病院

病院の概要

開設時期：昭和31年11月

開設者：中津川市長 小栗 仁志

院長名：関谷 正徳

病床数：316床

病科榜：内科（総合）、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、形成外科、精神科、腎臓内科、血液内科、老年内科、内分泌・代謝内科、病理診断科、救急科、内視鏡外科、心臓血管外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、肛門外科、歯科口腔外科

医師数：44名

指導医師数：19名

外来患者数：746名／日

入院患者数：212名／日

所在地：中津川市駒場1522-1

URL：<https://nakatsugawa-hp.jp/>



病院の特徴

地域の中核病院である当院では、様々な症状をもった数多くの患者さんが受診されるので、プライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を取得することができます。

院長メッセージ



関谷正徳

地域の人たちには無くてはならない病院として、またいざという時には頼りになる病院として、地域住民の人たちに安心、安全、信頼される医療をいつでも提供できるよう体制を絶えず整えています。進歩する医療に対して後れをとらないように、専門医資格や認定等の習得やその維持に積極的な支援を行っています。日本で初めての「病院前救急診療科」としてドクターカーを運用しており、当地方の災害拠点病院としての機能や、近隣の被災地域への支援のための災害医療派遣チーム（DMAT）を持つ病院もあります。臨床研修指定病院として、医師の研修を始め、各地の医療技術者養成期間の実習生の教育などに関しても安定した実績を持っています。

指導医メッセージ

当院での研修方針は一言でいうと「よってたかって育てます」になります。中規模病院（316床）のメリットを最大限に活かし、研修医の先生の希望に沿うようにプログラムを組み、実現させていきます。従来から研修医人数は多くなく、指導医同士の意思疎通も比較的良いため各診療科の垣根も低く、指導医や上級医と一緒に研修を進めることができます。当院では毎月委員会事務局と研修医との懇話会を開催して、研修医の先生の意見をできるだけ反映するような体制をとっております。国の定める方針には従いますが、当直する日や研修順などできるだけ自分で決めることができる余地は残るシステムにしてあります。このように自分の意見も無理せずに言えて、研修もしっかりとでき、手技も身につけることができると思います。

地理的には当院は特急の止まる中津川駅からそれほど遠くなく、近くにリニア中央新幹線駅はでき、高速道路のインターチェンジはあるため、交通の便は悪くありません。しかし、中津川市は都会ではなく、医療圏10万人程度の地方都市ではあります。いわゆる地方の研修病院ではありますが、近隣に総合病院が少ないと、症例も比較的多いかと思われます。

研修医メッセージ

当院は東濃医療圏の最東部に位置している病院です。東濃地域だけではなく、長野県に隣接していることから一部、長野県南部からも患者を受け入れる広大な医療圏を有しており、都市圏とは違う研修を体験していただけると思います。2次救急の病院ではありますか、病院周辺地域の症例が全て集まっているため、実質3次救急を担っていると言っても過言ではありません。

各科ローテーションでは基本的に研修医は1人になるように配置されています。そのため、指導医の先生方からの指導も独り占めをすることができる、望むならば手技も豊富に経験できると思います。また、当直業務は月4回が基本となっており、通常の研修に支障が出ないようになっています。1年目は必ず上級医が併診することになっており、2年目になっても必ず上級医がいますので、困ったときにはいつでも相談できる環境が整っています。高齢化の進んだ地域であることから、整形疾患・心疾患・呼吸器疾患が多いことが特徴となっています。

地方病院であるので、所謂高度先進医療を扱う事は少ないですが、主に救急外来にてcommon、criticalな疾患への対応力を身につけて、地域に貢献し自らのレベルアップもできる場であります。そんな当院に少しでも興味が湧いてきたら、一度病院見学にお越し下さい。病院スタッフ一同、お待ちしております。

研修スケジュール

■臨床研修プログラム

(週)	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
1年次	呼吸器内科	腎臓内科	脳神経内科	消化器内科	循環器内科	脳神経外科	小児科	救急	外科	産婦人科	整形外科	眼科	循環器内科
2年次	皮膚科	精神科	脳神経外科	泌尿器科	眼科	整形外科	地域医療	腎臓内科	耳鼻咽喉科	循環器内科	循環器内科	循環器内科	循環器内科

※必修科目：内科24週、外科4週、救急部門12週（4回／月×12月を行うことで4週分に充当可）、地域医療4週（2年次）、小児科4週、産婦人科4週、精神科4週（聖十字病院・岐阜大学医学部附属病院）

※ローテートは、研修医と相談して決めています。

研修協力病院・施設

愛知医科大学附属病院
岐阜大学医学部附属病院
名古屋大学医学部附属病院

医療法人社団聖泉会 聖十字病院
恵那市国民健康保険 上矢作病院
中津川市国民健康保険 川上診療所

中津川市国民健康保険 坂下診療所
中津川市国民健康保険 蛭川診療所

後期研修・専門研修（予定）

内科・外科・小児科・脳神経外科・整形外科・泌尿器科・救急科・病理診断科の診療科で基幹病院または大学病院と連携しており研修可能です。

研修プログラムの目標

将来の専攻希望科の如何にかかわらず、プライマリ・ケアを中心として、すべての臨床医に求められる基礎的能力を身に付けることを目的とした2年間の研修プログラムとなっています。

研修プログラムの特徴

地域の中核病院である当院には、さまざまな症状を持った数多くの患者が受診するので、研修医はプライマリ・ケアに必要な基本的な診療技術を修得することができます。

2年次の選択科目を多くしてあり、自由度の高いプログラムになっています。

全科の垣根が低く、症例などで困ったときに各科の医師に相談しやすい環境が整っています。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者 医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：5名（予定）

身分：常勤医師（フルタイム会計年度任用職員・社会保険加入）

給与：1年次 月収約640,000円／年収約8,400,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）

2年次 月収約690,000円／年収約9,500,000円（時間外手当、賞与、日当直月4回含む）（市の規定に沿って支給の為、変動あり。）

住居：規定に沿って補助あり。

保険：共済組合（保険・年金）・公務災害加入・医師賠償責任保険加入 ※（令和6年4月時点）

交通案内



連絡先

病院総務課 総務係

電話番号：0573-66-1251（代）

FAX：0573-65-6445

E-mail：nmgh@hosp.city.nakatsugawa.gifu.jp

(2026年2月に東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合により新病院となります)

岐阜県厚生農業協同組合連合会東濃中部医療センター東濃厚生病院

(公立東濃中部医療センター)

病院の概要

開設時期	令和8年2月(予定)
開設者	土岐市長
院長名	未定
病床数	400床(予定)
病床科	内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、緩和ケア内科(予定)
医師数	90名(予定)
指導医師数	24名(予定)
外来患者数	828名/日(予定)
入院患者数	299名/日(予定)
所在地	土岐市肥田町浅野1078番200
URL	http://www.tohno.gfkosei.or.jp/



※新病院(イメージ)



※2次元コードは東濃厚生病院のホームページを表示します

病院の特徴

土岐市及び瑞浪市には、土岐市立総合病院及び東濃厚生病院がそれぞれ中核病院として存在し、地域医療を守ってきました。東濃中部地域における医療提供体制については、岐阜県が策定した地域医療構想を踏まえ、将来にわたり継続的・安定的に医療提供ができる目標として、2病院の統合による400床規模の新病院の建設が進められております。

新病院では、病床機能として、急性期・回復期の他、地域包括・緩和ケア病棟をもち、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術などを充実させる予定です。

最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。

病院長メッセージ



塚本英人

令和8年2月に開院の新病院は瑞浪市と土岐市の中間地点(土岐市肥田町浅野)に建設されます。新病院では、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術などを充実させる予定です。

新病院で研修医の皆様をお待ちしております。

指導医メッセージ

私たち公立東濃中部医療センターは「地域にいながら、高度な医療を届ける」ことに本気で取り組んでいる病院です。診療科をまたいだ横断的な研修、救急初療から在宅支援まで一貫して患者さんを診る経験。これらは、大きな大学病院ではなかなか得られないものです。

目の前の患者さんと一緒に悩み、一緒に喜び、最良の医療を探し続ける、それが当たり前の日常です。新しい病院には、最新の電子カルテや画像診断機器、手術支援ロボットも完備され、緩和ケア病棟も設置されます。地域医療に興味がある人も、将来は専門医として大きな病院で活躍したいと思っている人も、ここでの経験は、必ずあなたの「武器」になります。

地域を守るという誇りと、高度医療に挑むというプライド、両方を胸に、一緒に成長していきましょう。まずはぜひ、見学に来てください!お待ちしています。

研修医メッセージ

スタッフの人数は決して多くありませんがその分、上級医を含むメディカルスタッフとの距離が近く、患者さんとも挨拶を交わす明るい雰囲気があります。2025年4月現在、研修医は5名ですが、互いに助け合い、研修医室での会話を通じて多くの交流が生まれています。さまざまな診療科で、手技を見学するだけでなく実際に経験を積むことができるため、早い段階から実力を伸ばす機会があります。

4月からは、早速当直が始まります。研修医が主体となって診察・検査・治療まで考える機会がありますが、入院や帰宅の判断は研修医のみで行うのではなく、必ず上級医のサポートのもとで決定します。フィードバックも丁寧に行われるため、自身の改善点をしっかりと把握することができます。当直を含め、日常の診療においても研修医の意見が反映されやすく、医療者としての自覚を持って主体的に関わることができます。指導医も積極的に声をかけてくれるので、学びの場が多くあります。

2026年2月には、隣の市の土岐市立総合病院と病床再編し、「東濃中部医療センター」として新たにスタートします。私たち研修医にとっても初めての経験ですが、一緒に盛り上げていきたいと思っています。もちろん見学も隨時受け付けていますので、興味があつたら是非お越しください!

(本パンフレットに記載している内容のうち、病院長メッセージ、指導医メッセージ、研修医メッセージ以外は統合後のプログラム(予定)となります)

研修スケジュール

患者を全人的に診ることのできる医師としての基本的診療機能を身につけ、プライマリ・ケアに対応できる臨床医としてのトレーニングを行う。2年目の研修後を見据えた柔軟性を持たせたプログラムとなっている。

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週		
1年次	内科						救急						外科	小児科	選択科
2年次	選択科	地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科								選択科	

研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院(産婦人科)

市立恵那病院(地域医療)

国民健康保険上矢作病院(地域医療)

医療法人徳洲会名古屋徳洲会病院

国民健康保険坂下診療所(地域医療)

山岡診療所(地域医療)

土岐市老人保健施設やすらぎ

岐阜県赤十字血液センター

医療法人仁誠会大湫病院(精神科)

中濃厚生病院(救急)

研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行うことができる事を目的としています。

研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科、小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりの連携もよく横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテート科に拘らず主治医と共に受け持ちます。当直は月4~5回程度です。

募集要項

応募資格: 令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員: 7名(予定)

身分: 常勤嘱託医

給与: 年収680~750万円程度(基本給・賞与・諸手当を含む)

住居: 住居手当として最大27,000円を補助

保険: 有(健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険)

交通案内



連絡先

東濃厚生病院 企画総務課

電話番号: 0572-68-4111

E-mail: soumuka@tohno.gfkosei.or.jp

(2026年2月に東濃厚生病院と土岐市立総合病院の統合により新病院となります)

岐阜県厚生農業協同組合連合会 東濃中部医療センター・土岐市立総合病院

(公立東濃中部医療センター)

病院の概要

開設時期：令和8年2月（予定）

開設者：土岐市長

院長名：未定

病床数：400床（予定）

標榜科：内科、消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、血液内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、呼吸器外科、乳腺・内分泌外科、血管外科、心臓血管外科、大腸・肛門外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、リウマチ科、アレルギー科、麻酔科、リハビリテーション科、放射線科、放射線診断科、放射線治療科、病理診断科、救急科、歯科口腔外科、緩和ケア内科（予定）

医師数：90名（予定）

指導医師数：24名（増員予定）

外来患者数：828名／日（予定）

入院患者数：299名／日（予定）

所在地：岐阜県土岐市肥田町浅野1078番200



※新病院（イメージ）



※2次元コードは土岐市立総合病院のホームページを表示します

病院の特徴

瑞浪市及び土岐市には、東濃厚生病院及び土岐市立総合病院がそれぞれ中核病院として存在し、地域医療を守ってきました。東濃中部地域における医療提供体制については、岐阜県が策定した地域医療構想を踏まえ、将来にわたり継続的・安定的に医療提供ができる目標として、2病院の統合による400床規模の新病院の建設を進められております。

新病院では、病床機能として、急性期・回復期の他、地域包括・緩和ケア病棟をもち、従来の診療科の他、産科の再開、リハビリ施設の拡充、緩和ケア、発達障害への対応の他、形成外科、歯科口腔外科、ロボット手術などを充実させる予定です。

最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。

病院長メッセージ



安藤修久

当院は土岐市にあります地域の中核病院です。お隣の東濃厚生病院と統合して、新病院「公立東濃中部医療センター」を開設予定です。地上7階建ての免震構造を備えた400床規模の病院を建設しております。令和8年2月の開院へ向けて、職員一丸となって準備を進めて参ります。最新鋭の設備を整えた新病院のスタートにふさわしく、多くの若い研修医の先生が当院での研修を希望して下さる事を期待しております。当院は伝統的に自由なプログラムを選択でき、自由闊達な雰囲気を持っています。ぜひ当院にお越し頂きたいと思います。

指導医メッセージ

当院は、土岐・瑞浪地域10万人規模の二次医療圏を担う中核病院です。研修プログラムにおいては、定員が毎年5人程度であるため、研修医のローテート科が重複しないよう調整することで、さまざまな症例・手技に接する機会が等しくあります。1年目は必修科目と救急疾患の診療の習熟に努め、2年目は将来の進路を見据えて、選択科目の中から各自が診療科を選択します。救急外来では、地域に密着した病院としてcommon diseaseからrareな疾患まで多岐にわたる症例を経験することができます。指導医、コメディカルとの垣根も低く、相談したり話し合ったりする環境があります。当院は、一人ひとりに目の行き届く研修を目指しています。

研修医メッセージ

当院を研修先に選んだ理由は、中規模病院であり地域に根付いていることから患者さんとの距離が近く、また各科の垣根も低いため相談しやすい等の点から当院を選びました。特に救急外来においては、大規模病院や大学病院では重症例ばかりの所もあるようですが、当院には風邪、打撲から心筋梗塞・脳出血等多種にわたる疾患の方が来られます。私は、研修医のうちに風邪などのcommon diseaseに対処できることも重要と考えたので、この病院を選びました。新病院では、多岐にわたる研修が期待でき、研修スケジュールの選択期間では、自分の進路に合わせて数ある診療科の中から選択ができ、研修生活をより充実させることができます。ぜひ、開院後の新病院に見学にお越しください。

（本パンフレットに記載している内容のうち、病院長メッセージ、指導医メッセージ、研修医メッセージ以外は統合後のプログラム（予定）となります）

研修スケジュール

それぞれの希望に合ったローテーションが組めます。各科1人のローテを基本とし、症例や手技を思う存分に学べます。

	1~4週	5~8週	9~12週	13~16週	17~20週	21~24週	25~28週	29~32週	33~36週	37~40週	41~44週	45~48週	49~52週
1年次	内科						救急			外科	小児科	選択科	
2年次	選択科	地域医療	選択科	産婦人科	選択科	精神科	選択科						

研修協力病院・施設

岐阜県立多治見病院（産婦人科）

市立恵那病院（地域医療）

国民健康保険上矢作病院（地域医療）

医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院

国民健康保険坂下診療所（地域医療）

山岡診療所（地域医療）

春日井市民病院（産婦人科）

名古屋大学医学部附属病院（産婦人科）

医療法人社団聖泉会聖十字病院（精神科）

国民健康保険坂下診療所（地域医療）

土岐市老人保健施設やすらぎ

岐阜県赤十字血液センター

医療法人仁誠会大湫病院（精神科）

中濃厚生病院（救急）

研修プログラムの目標

初期臨床研修を将来医療を担うものにとって最も重要な時期の一つとして位置付けております。プライマリ・ケアを含めた医療に関する考え方、基本的知識及び技術を臨床の場において広く修得するのみではなく、医師としてふさわしい人格、責任及び協調性、更に高い倫理観を身につけると共に患者様の立場に立った全人的医療を行なうことができる事を目的としています。

研修プログラムの特徴

初年度は内科系24週以上、救急を12週以上、外科・小児科については4週以上、2年次は地域医療、精神科、産婦人科を4週以上上行います。残りの期間はそれぞれ希望により選択します。各科の横の繋がりの連携も良く、横断的・多角的な研修が可能です。救急外来、当直は2年間を通じて研修し、担当した症例はローテート科に拘わらず主治医と共に受け持ちます。当直は月4～5回程度です。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：7名（予定）

身分：常勤嘱託職員

給与：年収680～750万円程度（基本給・賞与・諸手当を含む）

住居：住居手当として最大27,000円を補助

保険：有（健康保険・厚生年金・雇用保険・労災保険・医師賠償責任保険）

交通案内



高山赤十字病院

病院の概要

開設時期：大正11年11月1日

開設者：日本赤十字社社長 清家 篤

院長名：竹中 勝信

病床数：394床

病科榜：内科、呼吸器科、消化器科、血液内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科、歯科口腔外科、病理診断科

医師数：86名

指導医師数：33名

外来患者数：664名／日

入院患者数：303名／日

所在地：高山市天満町3-11

URL：<http://www.takayama.jrc.or.jp/>



病院の特徴

【高山赤十字病院】は令和4年（2022年）に創立100周年を迎えた、岐阜県北部の歴史ある総合病院です。昭和56年（1991年）に臨床研修病院に指定されて以来、多くの医師を育ててきました。

東京都の2倍という広大な医療圏を守る中核病院としての当院のミッションは、高度な急性期医療を行うことです。飛騨地域では唯一の救命救急センターを整備。また回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設を併設。地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院、災害拠点病院ほか多くの指定を受けています。多様な機能を生かして地域の超急性期から慢性期医療、終末期医療と、地域完結型を基本とした医療を提供しています。

院長メッセージ



竹中勝信
(脳神経外科)

当院は今年創立103年を迎えた歴史ある病院です。飛騨地域の中核病院として急性期医療を担い、地域住民から大きな信頼と期待を寄せられてきました。救命救急センターのほかに、回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、介護老人保健施設も併設し、超急性期から慢性疾患に至るまで、発症時からの一貫したプライマリケアを体験できます。

研修医は指導医のもと年間3000件超の救急搬送に副当直として対応し、多くの救急疾患を学ぶことができます。一方、病棟においては経験豊富な熱意ある指導医によるきめ細かい指導を受けられます。また、研修医による自主勉強会では、通常遭遇する病態・疾患についてプレゼンテーションを行い、他の研修医、指導医と活発な議論を行うほか、各部署の勉強会にも気軽に参加することができます。

このように年間を通じて学習機会が多く、充実した臨床研修を受けられるように積極的な支援を行っています。

飛騨高山には、美味しい郷土料理や温泉もあります。地域の魅力に触れながら医師としての第一歩を踏み出してみませんか。大いに歓迎致します。

指導医メッセージ

高山は、世界中から多くの観光客が訪れる国際都市で救急外来にも外国人が多く受診します。また、研修2年目には、姉妹都市であるアメリカコロラド州デンバーの病院研修を選択でき、必然的に国際感覚が身につけられます。研修の最大の特徴は、症例ごとに研修医自ら考え医療行為を行う「ひとりの責任ある医師」として、患者さんからもスタッフからも扱われるところにあります。また、飛騨地域唯一の救命救急センターで広大な二次医療圏内の数多くの急性期、慢性期疾患を当院で経験することができます。

2004年からの新臨床研修医制度では約90名の研修医が意義な研修を積んで岐阜県内、全国に巣立ち活躍しています。さらに岐阜大学との専攻医プログラムと連携を取り、若い時期に多くの貴重な症例を経験することができます。飛騨地域の救急医療や新規感染症、災害に対応できる新病院を建設する計画を進めています。一度見学してみませんか？

研修医メッセージ

スーパーローテーションでプライマリ・ケアを身に付けるには、この病院がお勧めです。各科の壁が非常に低く風通しが良いので、コンサルトしやすい環境が整っています。上級医の先生も教育に熱心な先生が多く、お忙しい中快く何でも教えてくださるので安心して研修できます。

救急の副直業務では、1次から3次救急まで幅広い疾患を見ることができ、当直の内科系と外科系医師に困ったらすぐ相談をして、責任ある指導が得られます。メディカルスタッフと医師の仲がよいのも特徴で、ベテランの看護師、薬剤師・技師さんに何度もピンチを救ってもらっています。

高山は人情豊かな地で、患者さんにも助けられて充実した研修を進めることができます。研修医が都会の病院に集中する傾向がありますが、自分が医療スタッフの1人として責任を持って診療できるのは、当院ならではの醍醐味です。

研修スケジュール

一般 プログラム	1年次	25週			8週	4週	12週		
		内科							
2年次	4週	4週	4週	41週			選択科		
	産婦人科	精神科	地域医療	選択科					
地域医療 重点 プログラム	1年次	25週			8週	4週	12週		
		内科							
2年次	4週	4週	12週	33週			選択科		
	産婦人科	精神科	地域医療	選択科					

○救急科：脳神経外科、整形外科、麻酔科に所属し救急対応を研修します。

○選択科：当院の全診療科、協力病院・施設にて、各自の進路、希望に合わせて研修を行います。

研修協力病院・施設

特定医療法人生仁会須田病院	飛騨市民病院	朝日地域診療所	高桑内科クリニック
日赤愛知医療センター名古屋第一病院	清見診療所	高根地域診療所	河野ファミリークリニック
日赤愛知医療センター名古屋第二病院	莊川診療所	久々野拠点診療所	飛騨保健所
鳥取赤十字病院	白川診療所	岐阜ハートセンター	岐阜県赤十字血液センター
JA岐阜厚生連飛騨医療センター久美愛厚生病院	高山赤十字病院老人保健施設はなさと	岐阜大学医学部附属病院	富山大学附属病院
郡上市民病院	Mこころクリニック	ひだ在宅クリニック	岐阜県立下呂温泉病院

後期研修・専門研修

○基幹プログラム：内科（定員5名）…岐阜大学医学部附属病院、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、岐阜ハイツセンター、久美愛厚生病院、飛騨市民病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センター、岐阜赤十字病院と連携して専門研修を行っています。

○連携プログラム：16領域は、岐阜大学医学部附属病院と連携して当地域での特徴的な疾患などを経験できます。一部の領域では、岐阜県総合医療センター、岐阜市民病院、松波総合病院、日赤愛知医療センター名古屋第一病院、日赤愛知医療センター名古屋第二病院、東京都立多摩総合医療センターの連携施設にもなっています。

研修プログラムの目標

幅広い臨床能力を修得し、日常よく遭遇する疾患に対するプライマリケアの修得と、将来、地域医療に貢献することを重視する医師が、地域医療において必要な診断、治療上の基礎的知識、技能を得るとともに、研修医時代に医師としての基本が形成されることから、臨床能力のみならず人格の涵養も大切で、人間味ある臨床医を目標とする。

研修プログラムの特徴

医師少数区域の飛騨地域にあり、中核病院としての役割を期待されています。このため救命救急センターを併設し1次から3次までの救急を担当しています。さらに一般病棟のみならず、回復期病棟、老人保健施設を有し、超急性期から急性期、慢性期、回復期、高齢者医療まで幅広いプライマリケアの修得が可能です。一貫した研修体制の下で垣根のない指導が受けられ、41週（地域医療重点プログラムは33週）は研修医の希望により診療科を選択し、幅広く研修を行います。

募集要項

応募資格	令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員	8名（予定）
身分	研修医（常勤嘱託）
基本給	1年次年収 約750万円 2年次年収 約900万円 (基本給・賞与・諸手当を含む)
居住地	等：宿舎あり 医師住宅家賃補助あり
保険	等：健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険

交通案内



連絡先

電話番号：0577-32-1111 教育研修課
fax : 0577-32-6802
E-mail : dr_kenshu@takayama.jrc.or.jp

岐阜県厚生農業協同組合連合会飛騨医療センター久美愛厚生病院

病院の概要

開設時期：昭和14年10月2日
開設者：岐阜県厚生農業協同組合連合会
院長名：山本 昌幸
病床数：300床（一般：182床、療養57床、感染4床、結核8床、地域包括ケア49床）
標準科：内科、循環器内科、心療内科、小児科、外科、呼吸器外科、脳神経外科、整形外科、皮膚科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、放射線科、リハビリテーション科、麻酔科
医師数：33名
指導医師数：20名
外来患者数：407名／日
入院患者数：211名／日
所在地：岐阜県高山市中切町1-1
URL：<https://www.kumiai.gfkosei.or.jp/>



病院の特徴

当院は病床数300床の救急告示病院です。急性期病床の他、感染病床・結核病床、地域包括ケア病床、療養病床を備えており、健診センター、医療介護センターを併設しています。広大な飛騨医療圏で二次救急医療を担っているため、あらゆる急性期疾患に対応する地域の中核病院としての役割が求められます。手術やがん治療といった高度医療に加え、慢性疾患の管理も行います。また、高齢者が多い地域のため、在宅医療へのスムーズな移行を目指した地域包括ケアシステムとしての役割もあり、訪問看護・訪問リハビリ事業を行っています。飛騨地区住民の健康が保たれるように、スタッフ一同全力を尽くしています。

院長メッセージ



山本昌幸
(脳神経外科)

当院は地方にある中規模病院です。中部縦貫自動車道・高山インターに近いため各方面からのアクセスも良く、また病棟から真正面に乗鞍岳の雄姿を望むことが何よりの特徴です。常勤医師数は少なく初期研修医も少数ですが、研修医が少ないことをメリットに見え、大規模病院とは違った取り組みをしております。「地域包括ケアから海外医療まで。実践こそが、研修でしょ？見ているだけなんてありえない。」をモットーに、少数精鋭だからやりたいことを徹底的にやれ、臨床能力が早く・確実に身につく研修を行っております。指導医はほとんどがローテート研修経験者です。研修医一人ひとりの特徴・志向、手技や知識の達成度をきめ細かく把握した上で丁寧に指導します。また積極的に診察、検査、手術に呼び、手技はマンツーマンで教えます。

北アルプスに抱かれながら、有意義な研修を受けてみてはいかがでしょうか？

指導医メッセージ



横山敏之
(呼吸器内科・感染症)

初期研修では、医師としての診療姿勢の基礎を形成する時期であり、患者やその家族と全人的に向き合い、院内スタッフや地域とも協力し合い最高の医療を提供できるようになりますことを目的とします。当院では、救急疾患から慢性期や緩和ケアまで一貫したプライマリケアを研修できます。地域包括ケアについても積極的に参加して地域にとってなくてはならない医師になっていただきたいと思います。研修病院としての歴史は長く、研修医定員は少数のためベテランの上級医のマンツーマンの指導を十分に受けることができます。また、2年次はその後のキャリア形成に移行できるように選択可能期間を長くとっています。

地域医療に関心のある方、自然豊かな観光地高山で研修したい方、やさしいスタッフや患者さんと一緒に研修をしたい方、ぜひ見学に来てください。

研修医メッセージ

当院の初期研修では研修医の人数が少ないので、指導医の先生方からマンツーマンで手厚い指導を受けることができます。都会の研修医が多い病院では症例や手技の取り合いがあるという話を伺いますが、当院ではそのようなことはなく積極的になればなるほど様々な手技を数多く経験できます。また、興味深い症例や練習したい手技があれば、違う科をローテート中でも呼んでいただけるのは当院ならではのメリットだと思います。

当院は二次救急病院で、日当直業務は上級医1名と研修医1名がセットになって行います。基本的にファーストタッチは研修医が行いますが、検査や治療の方針を上級医の先生と相談して決めることができます。安心して研修することができます。三次救急を経験したいとの希望があれば、大垣市民病院等で研修を行うことも可能です。

高山という土地柄故か、患者さんや病院スタッフの皆さんも優しい方が多く、良い雰囲気でストレスなく研修することができると思います。また、高山は食べ物が美味しい観光スポットも多いため、休日に退屈することはありません。交通費や宿泊費の補助もありますので、興味のある方は是非見学にお越しください。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんへ広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当院へお問い合わせください。

研修スケジュール

1年次	内科（26週）					外科（13週）		救急（13週）
2年次	地域医療 (6週)	小児科 (4週)	産婦人科 (4週)	精神科 (4週)	保健・医療行政 (2週)	泌尿器科・皮膚科・眼科 耳鼻咽喉科(各2週)	在宅医療 (1週)	脳外科・整形外科・麻酔科(各4週)

研修協力病院・施設

(協力型病院) 高山赤十字病院 富山大学附属病院 (協力施設) 東濃厚生病院 西濃厚生病院 高根地域診療所 莊川診療所	須田病院	大垣市民病院	土岐市立総合病院
中濃厚生病院 岐阜ハートセンター 朝日地域診療所 宮川診療所	西美濃厚生病院 ひだ在宅クリニック 久々野拠点診療所 河合診療所	岐北厚生病院 飛騨保健所 清見診療所	

研修プログラムの目標

医師が医師としての人格を涵養し、医学及び医療の果たすべき社会的役割を認識しつつ、一般的な診療において頻繁に関わる疾患に、適切に対応できる診察能力を身につけることを第一の研修目標とします。

研修プログラムの特徴

1. 基本知識・技能の修得
内科研修に十分の時間をかけ、病歴聴取、身体観察、鑑別診断、臨床推論などの知識・技術・思考過程と、感染症診療、栄養管理、水分管理などの基本原則といった将来どの診療科に進むとしても必要となる基本を身につけます。
2. 救急への対応
救急外来、手術室での麻酔管理研修を通じて、気道確保・気管内挿管の手技や循環動態・病態生理の理解をし、救急や急変時に頼りにされる医師を育てます。
3. 患者中心の医療の理解と実践
主治医として診療を担当し、指導医とともに真摯に患者と向き合える人間としての総合力を築きます。また、当院では診療科の垣根が低く科をまたいだ診療に参加でき、あるいは多職種連携も取れており、患者に全人的に関わることができます。
4. 地域医療の理解と実践
高山市は都市部とは隔離された土地で東京都と同じ面積に約8万人が生活し、当院は中核病院として急性期から慢性期、緩和ケアに渡る幅広い医療を実践し、住民の健康管理にも力を入れています。地域における医療の役割を理解することを目指します。また、保健所研修を通じて地域での医療行政を学びます。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者
募集人員：3名（予定）
身分：嘱託常勤職員
給与：1年次 490,000円（手当込）／月 賞与890,000円
2年次 540,000円（手当込）／月 賞与1,100,000円
年収 1年次 7,600,000円（手当込）（令和6年度平均実績）
年収 2年次 8,000,000円（手当込）（令和6年度平均実績）
住居：医師住宅あり・賃貸住宅居住者には家賃補助あり
保険：各種保険制度あり

交通案内



JR 高山駅より車で15分

連絡先

久美愛厚生病院 企画総務課
t e l : 0577-32-1115
f a x : 0577-34-7115
E-mail : soumu-3@kumiai.gfkosei.or.jp

岐阜県立下呂温泉病院

病院の概要

開設時期	昭和28年7月1日
開設者	地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院
院長名	西垣 和彦
病床数	198床（稼働病床数152床）
標榜科	内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、内分泌内科、腎臓内科、小児科、外科、消化器外科、乳腺外科、胸部・心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科、臨床検査科、救急科
医師数	26名
指導医師数	13名
外来患者数	250名／日
入院患者数	127名／日
所在地	下呂市森2211
URL	https://www.gero-hp.jp/



病院の特徴

下呂温泉病院は、飛騨南部を中心とした広大な診療圏において、地域密着型の医療を提供する、病床数198床の地域中核病院、へき地支援病院です。診療圏内唯一の二次救急医療機関であり、救急・急性期医療からリハビリテーション・予防医学・在宅療養支援までの一貫した診療を行っています。

平成26年に現在の地に新築移転し、屋上ヘリポートの設置により重症患者の搬送入を直接病院で行えるようになり、よりスピーディな救急対応が可能となりました。病室を「全室個室化」することでプライバシーの向上が図られ、また、基礎免震構造を備え大規模災害時にも機能できるようになり、患者さんがより安全に、安心して利用できる医療の場を提供しています。

院長メッセージ



西垣和彦

下呂温泉病院は、“生活の場における医療”（住民が必要とする医療をその地域内で行う医療）の提供を基本理念として、地域の皆さん、県民の皆さんから信頼され、必要とされる病院を目指しています。

当院は下呂市の他、中津川市北部、加茂郡の一部、郡上市の一部を含めた総面積1,500k㎡の広大な地域をカバーしているほか、観光で訪れた方々の救急需要が高いという特徴があります。

岐阜大学医学部地域医療医学センター、岐阜県総合医療センターと協働し、研修医の方々を相互派遣することで、当院では経験できない診療科や都市部の医療を学べるほか、都市部の研修医の方についても当地域における地域医療を学んでいただく体制も整しております。

地域に根ざした病院環境の中で2年間の研修を体験し、地域医療を担う即戦力の医師を目指してみませんか。

指導医メッセージ

当院は中規模な総合病院であり、症例数も初期研修には適しており、個々の症例にじっくりと取り組み、指導医の濃厚な指導を受けることができます。都市部でしばしば見られるような、忙しすぎて收拾がつかなくなるといったこともまず起りません。

診療科間の垣根なく、他科との連携も取りやすいため、受け持ち患者が少なくても複数科の診療に同時に携わることができます。救急医療においては、診療圏内の救急患者のほぼ全てを受け入れ、幅広い救急対応技術を修得することができます。

診療所や訪問看護ステーション等の院外医療スタッフとの交流も盛んで、地域医療や総合医を志している方には最適の環境です。是非、私たちと一緒に、地域にとけ込んだ真の総合医療を研修してみませんか。

研修医メッセージ

下呂温泉病院は自然豊かな地域に立地しており、地方の病院であるため、病院内においても医療スタッフの方々や患者さんが温かく接してくださいます。

当院の研修内容は自由度が非常に高く、また、研修医の定員が1年次2名と少数のため、きめの細かい丁寧な指導を受けることができます。例えば内科研修においては、エコーと思う存分使わせてもらいました。随時開催されている院内勉強会・研修会も大変勉強になります。興味のある方は是非見学にいらしてください。

研修再開を希望される皆さんへ

当病院では、中途再開者の皆さんに広く門戸を開いています。研修再開を希望される方は、当病院へお問い合わせください。

研修スケジュール

	1年次	1～4週	5～8週	9～12週	13～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
		内科(24)				救急(12)				外科(4)	小児科(4)	産婦人科(4)	精神科(4)	
2年次	53～56週		57～60週		61～64週		65～68週		69～72週		73～76週		77～80週	
	81～84週		85～88週		89～92週		93～96週		97～100週		101～104週		※順不同	

- 内科と救急部門は1年次に研修する
- 外科は当院、精神科、小児科、産婦人科、麻酔科は協力病院にて各4週間研修
- 地域医療は2年次に協力施設にて4週間研修（一般外来と在宅医療の研修を含めるものとする）
- 選択研修は希望する診療科を選択する（履修済みの診療科の再選択も可能）
- 保健・医療行政を選択した場合は、岐阜県飛騨保健所にて研修（1週間）
- 全期間を通じ、救急当直研修（月4回以上）、一般外来研修（4週間）を必須とする
- その他、全期間を通じ、感染対策、医療安全対策、予防医療、虐待対応、社会復帰支援、緩和ケア、ACP、CPC等、基本的な診療において必要な分野・領域に関する研修を必須とする

研修協力病院・施設

【研修協力病院】

岐阜大学医学部附属病院【小児科、麻酔科】

岐阜県総合医療センター【小児科】

特定医療法人隆源会南ひだせらぎ病院【精神科】

岐阜県立多治見病院【産婦人科】

【研修協力施設】

下呂市立小坂診療所【地域医療】

東白川村国保診療所【地域医療】

小池医院【地域医療】

恵生会近藤医院【地域医療】

飛騨保健所【保健・医療行政】

研修プログラムの目標

当院は次の3点を履修目標とし、地域の人の心が分かり、そして高い医療レベルを修得し、地域をリードする医師の育成を目指した研修を行います。

- ①プライマリー・ケアを担える総合的な診療能力を身につける
- ②救急医療において適切な初期対応をできるようにする
- ③チーム医療を理解・尊重し、様々な職種と協調した医療を実践する

研修プログラムの特徴

当院は地域中核病院、へき地支援病院であり、地域との結びつきが強い病院という特徴があります。また、病床数206床を有する急性期病院でもあり、特殊な治療以外は全て行っております。これらの特徴を活かし、研修期間を通して、地域医療の精神（医師としてのあり方）と、プライマリー・ケアを中心とした診療技術を同時に学ぶことができます。

募集要項

応募資格：令和9年3月に医師免許を取得する見込みである者
医師免許取得者で初期臨床研修を修了していない者

募集人員：2名（予定）

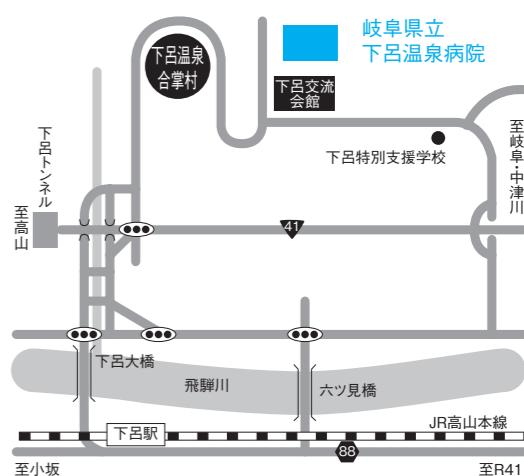
身分：常勤職員として採用

給与：月額約700,000円 賞与：年2回

住居：等：医師住宅有り、賃貸住宅居住者には住宅手当有り（要相談）

保険：等：健康保険、厚生年金、雇用保険、地方公務員災害補償、病院加入の医師賠償責任保険

交通案内



JR 下呂駅からバスまたは自家用車8分

岐阜県における主な医療状況

1 県内の医師数の状況

岐阜県の医療施設従事医師数は、徐々に増加しています。

	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年	令和2年	令和4年
医療施設従事医師数	3,933人	4,028人	4,141人	4,223人	4,295人	4,442人	4,505人

また、人口10万人当たりの医療施設従事医師数は、岐阜医療圏では全国平均を上回っていますが、それ以外の4医療圏では全国平均を下回っています。

	R2 (a)	R4 (b)	(b)-(a)	人口10万人あたり		
				R2 (c)	R4 (d)	(d) / (c)
岐阜	2,312人	2,345人	33人	291.3	298.2	1.024
うち岐阜市	1,669人	1,676人	7人	414.6	421.1	1.016
西濃	618人	616人	△2人	172.4	175.5	1.018
中濃	626人	645人	19人	171.8	180.3	1.049
東濃	619人	621人	2人	191.3	196.8	1.029
飛騨	267人	278人	11人	192.2	206.7	1.075
合計	4,442人	4,505人	63人	224.5	231.5	1.031
全国	323,700人	327,444人	3,744人	256.6	262.1	1.021

2 医師臨床研修の状況

〈R2～R7採用実績〉

(各年度4月1日現在)

R2採用	R3採用	R4採用	R5採用	R6採用	R7採用
募集定員	採用実績	募集定員	採用実績	募集定員	採用実績
176人	138人	206人	143人	196人	149人

募集定員	採用実績								
191人	144人	190人	157人	184人	171人				

※採用実績には再開者を含む。

3 岐阜県医師育成・確保コンソーシアム

岐阜大学医学部と県内21構成病院が中心となり、医師育成を通じた地域医療の確保を目指して結成されたシステムです。

コンソーシアムでは、県内の医療機関での臨床研修と、その後のキャリアアッププログラムを提供し、医師が安心して自分自身の成長を実感できるような医療現場となるよう、岐阜県医学生修学資金貸付制度とも一体的に運用し、施設間の調整を行っています。

〈臨床研修等実施者数（修学資金受給者）〉

(各年度4月1日現在)

	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7
臨床研修実施者数	79人	78人	69人	71人	75人	70人	73人
業務従事者数	111人	141人	181人	202人	221人	253人	270人
業務従事修了者数	30人	35人	38人	53人	62人	69人	81人
計	220人	254人	288人	326人	358人	392人	424人

※修学資金受給者のうち、令和7年4月1日現在、県内の医療機関において73人が臨床研修を行い、270人が業務に従事しています。

お問い合わせは、岐阜県庁医療福祉連携推進課医療人材確保係
【電話番号】058-272-8879 【E-mail】c11230@pref.gifu.lg.jp
までお気軽にどうぞ